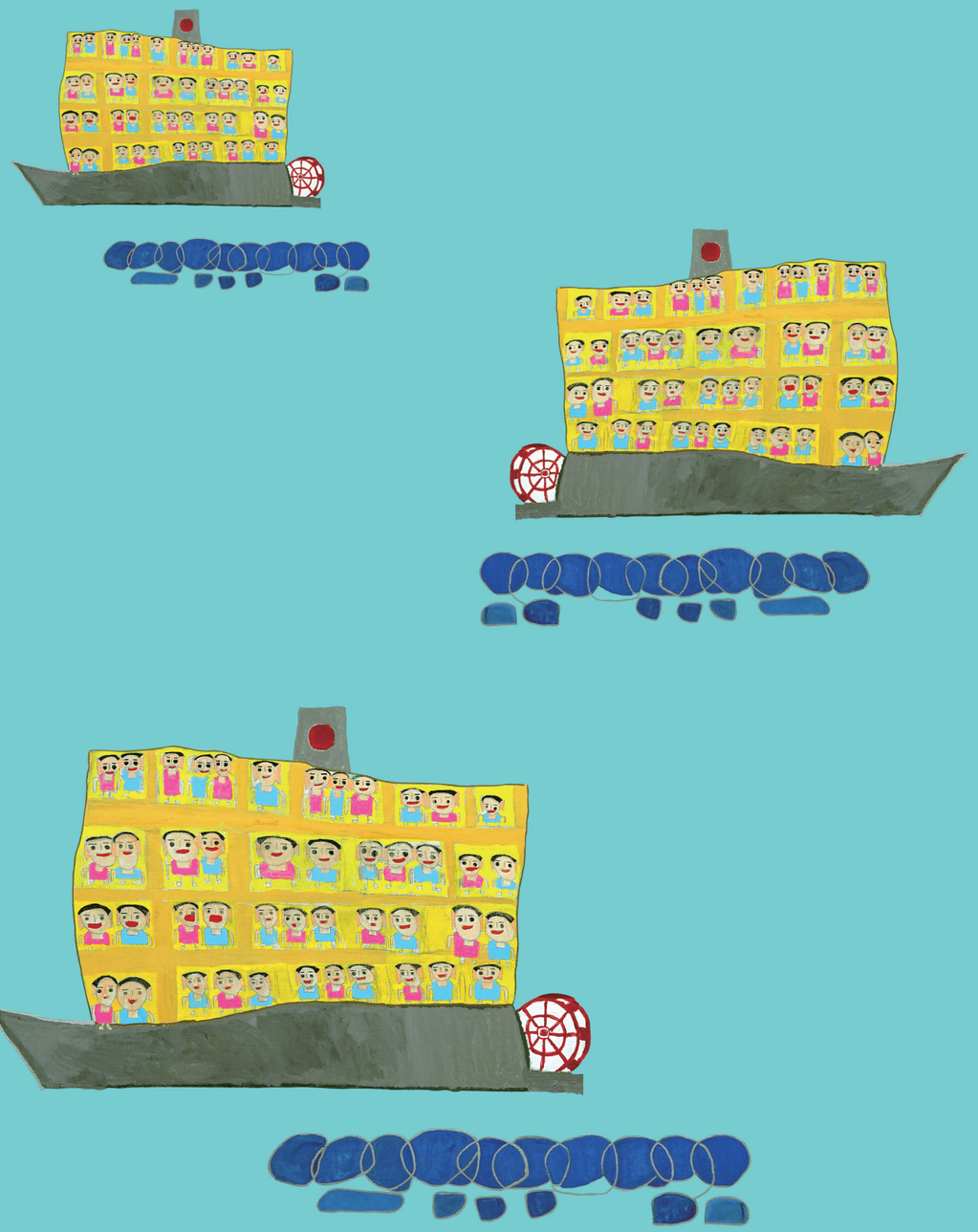


あいち
アール・ブリュット

beyond 2020

愛知県測量設計業協会は、障がいがありながらも自立を目指す才能のあるアーティストを応援します。

アート・福祉・地域活性・経済活動をつなぐ新しいかたちとして誕生した、アティックアートの活動の輪を社会に広げていきたいと思います。

(一社)愛知県測量設計業協会 × アティックアート × 宇平康之 アティックアート会員画家(わらび)

方位（第四十三号）

一般社団法人 愛知県測量設計業協会

方位

2020−12 第43号

一般社団法人 愛知県測量設計業協会

一般社団法人 愛知県測量設計業協会について

昭和49年11月、社団法人愛知県測量設計業協会は愛知県知事の認可を得て正式に発足しました。

「測量業」の生立ちは、昭和24年６月測量法の公布により、測量技術者の資格と担当範囲が制定され、ここに測量業者の誕生となり、昭和36年６月の測量法一部改正により、測量業の登録制度が法制化されました。

測量業者の組織では、昭和36年８月社団法人全国測量業協会が発足し、全国に８支部を設置。当地区にも中部支部が設置され活発な事業を展開しました。各県に会員が増加し、昭和42年８月支部内に愛知県支会が発足、地域独自の諸問題に対処してまいりました。その後、県内独自の組織の強化が叫ばれ、支会の公益法人化を目指し、昭和49年11月愛知県知事の認可により社団法人の資格を得、社団法人愛知県測量設計業協会が発足致しました。

「公益法人改革３法」が平成20年12月１日から施行されたことに従い、私共は一般社団法人化を目指すこととしました。愛知県建設部の御指導を賜り、平成25年４月１日付けで移行許可を受けることができました。

今後とも、非営利法人の自覚のもと、公益事業として、測量設計無料相談所の設置運営、災害等緊急時協力体制の整備確立等の地域社会への貢献、会員の親睦と団結、技術の研鑽等の研修活動、各種要望、陳情活動、並びに協会の広報活動等々、協会の目的達成のために、幅広い活動を展開して参ります。

創立以来、関係機関の皆様からの厚いご支援、ご鞭撻のお蔭を持ちまして、当協会も順調に推移してまいりましたが、昨今の業界を取り巻く環境は厳しく、健全な発展を図る為に、更に一層のご支援、ご鞭撻をお願いする次第であります。

会員一同は、一致団結してこの難局に対処致し、地域社会への貢献、技術の向上、経営の安定化、社会的地位の向上等々に、尚一層取り組んで参りたいと存じます。

協会の主要な事業

(1) 測量、調査、設計、技術等の向上の為研修及び講習会の開催
(2) 測量及び設計業の技術及び経営業務の改善に関する調査研究
(3) 災害復旧における技術援助計画の立案及び実施
(4) 関係機関及び各種団体との連絡及び提携
(5) 測量及び設計業の社会的使命に関する宣伝及び啓蒙
(6) 県民無料測量及び設計相談所の開設
(7) その他本会の目的を達成する為に必要な事業

「方位」 第 43 号の刊行にあたって

広報委員会

委員長　永草 新吾

恒例となりました年一度、皆様にお届けしている「方位」ですが、本年も第43号が完成し、刊行することが出来ました。県民の皆様、一人でも多くの方々に読まれ、社会資本整備の必要性を再認識していただくと共に、理工系の大学生、専門学校生、高校生の学術資料になればと、今回も2000部を用意いたしました。県内全ての公立図書館・官公庁・大学・高校等で読み親しんでいただければ幸いです。

今年も熊本県を中心に九州各地、中部地方では隣接する岐阜県、東北地方では山形県で豪雨等の自然災害が発生し、甚大な被害が相次いでいます。当地でも南海トラフ巨大地震の発生が危惧されるとともに、大規模な風水害や土砂災害の発生が懸念されています。我々は常日頃から防災・減災を意識し災害支援体制の整備に努めております。

さて、今号につきましては新型コロナウイルス感染症の影響に伴い例年掲載しております特集記事を中止とし、刊行時期につきましても例年の10月から12月とさせていただきました。公益事業への取り組みでは、国土地理院中部地方測量部との協働による「測量の日」の関連事業として県内小学校生徒を対象に関催されております「地図教室」も中止となりました。毎号、生徒たちが興味深く地図の勉強をしたり、楽しく測量体験している様子などを記事にしていますが、中止となり残念に思います。「愛知県農業クラブ連盟平板測量競技会」は開催され、その様子を掲載しております。

協会トピックスでは、当協会会員企業で新たに社長に就任した新社長に就任の抱負、同社の取り組み等を紹介していただきました。また、前号に引き続き、学生や転職入職者の皆様には、会員企業の新入社員（入社３年目）及び若手・中堅技術者からの投稿を掲載しています。就職活動の一助となれば幸いです。

また、今回は愛知県建設局長 鎌田裕司様からの巻頭言をはじめ、多くの方に寄稿頂いたことに対し、皆様に厚くお礼申し上げます。

最後になりますが、この「方位」を多くの皆様に読んでいただき、当協会活動の社会的認知度がさらに向上できるよう努めてまいりますので、ご指導・ご支援をお願いする次第です。

－目　次－

一般社団法人　愛知県測量設計業協会について …… 1
「方位」第43号の刊行にあって …… 2

挨拶と巻頭言
刊行にあたり …… 今村　鐘年　5
刊行に寄せて …… 鎌田　裕司　6

公益事業への取り組み
1.平板測量競技会への支援 …… 吉本　三広　7

協会トピックス
1.新社長紹介 …… 8
2.新入社員紹介（入社３年目迄） …… 10
3.若手中堅技術者からの投稿 …… 14

協会委員会活動報告
1.協会活動報告 …… 18
2.総務委員会 …… 24
3.広報委員会 …… 25
4.測量委員会 …… 26
5.建設コンサルタンツ委員会 …… 27
6.危機管理委員会 …… 28

会員紹介（ナハマヤラワ行）
1.ニチイコンサルタント㈱ …… 29
2.早川都市計画㈱ …… 30
3.フジコンサルタント㈱ …… 31
4.㈱名邦テクノ …… 32

紹　介

協会顧問の紹介 …… 33
役員名簿 …… 35
委員会名簿 …… 36
会員名簿 …… 37

広告 …… 39
編集後記 …… 巻末

表　紙　　揮毫「方位」・・・・・・・・一般社団法人　愛知県測量設計業協会会長
今村　鐘年

表　紙（絵）　　アティックアート

挨拶と巻頭言

刊行にあたり

（一社） 愛知県測量設計業協会
会長　今村　鐘年

機関紙「方位」第43号の刊行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私ども測量設計業協会は創立以来、国土交通省、愛知県を始めとする行政機関の方々、並びに顧問団の先生方の温かいご支援を頂き、今日に至っております。

改めて、厚く御礼申し上げます。

公共事業予算の確保、設計業務技術者単価の７年連続アップ等、私ども業界にも明かりが戻り始めました。一方、今年度で終了する『防災・減災・国土強靭化のための３ヶ年緊急対策』の関連費を含む公共事業予算は、単価アップ率に追いついておらず、事実上、事業量の減少ではないかと危惧しています。

この国土強靭化関連費は、今年度で終了しますが、「防災・減災が主流となる社会の構築が不可欠」と言われており、今後も危惧される広域・激甚災害に対する事前防災への対応、交通インフラの充実、老朽化が進む社会資本（インフラ）に対する維持管理への対応など、安全・安心や今後の地方経済発展に寄与する施策の充実・強化に向けた公共事業への投資に期待するところです。

令和元年６月に、品確法が再改正され、測量・地質調査・設計など、私どもの職域が同法の対象に明確に位置付けられた事で、私ども測量設計業の社会的、経済的地位向上に大きく寄与する画期的な再改正であると感じています。また、平成31年４月の改正労働基準法の施行を踏まえた働き方改革などへの取組みが不可欠となっています。

しかしながら、私ども業界は技術者の高齢化、若手入職者の減少、長時間労働や休日出勤など、多くの課題に追い打ちを掛けられ、生産年齢人口が減少傾向にあります。業界における担い手の確保・人材の育成への取組みは、「働き方改革」の流れとも相まって、必然的に改善を要する課題となりました。

そのような中、今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の緊急事態宣言下においても『継続すべき業務』を担う業界であるとの認識のもと、引き続き責任を持って地域社会に貢献すべく「働き方改革」「生産性・技術力・品質の向上」を更に強化していかなければならないと痛感しております。

新型コロナウイルス対策における課題と対応に加え、働き方改革・生産性の向上への取組みが不可欠となり、協会としても会員への情報の提供・共有が必要と考えています。

近年、大規模自然災害が頻発し、生活や経済に甚大な影響を及ぼしています。

いつ・どこで風水害や土砂災害が発生しても不思議ではなく、私どもが生業とする測量・設計を担う技術者は真正面から向き合い、調査測量に始まり、計画・設計など建設業の下支えとなることは、災害協定を締結する地元企業として果たさなければならない義務と責任であると思っています。

又、行政機関はさまざま団体と災害協定を締結していますが、発災後の対応に不確定な部分が多いと感じています。災害事例等を基に、いつ・どの団体に・なにを要請するか、具体的な合意形成を構築し、総力戦で対応する仕組みが今後の課題と考えています。

協会員は、日頃から『協調と競争』をキーワードに行政機関の良きパートナーとしての自覚を持ち、「測量設計業を守り、測量設計業の必要性を発信していく」ための事業活動を継続します。

加え、業界は経営基盤を安定させ、将来を見通し、担い手の確保や人材の育成、更には就業環境の改善に取組み『夢のある産業』を目指し、日々研鑽・啓発に努めて参りますので引き続き、行政機関の皆様には、協会並びに協会員へ更なるご支援、ご指導をお願い申し上げます。

刊行に寄せて

愛知県建設局長
鎌田　裕司

一般社団法人愛知県測量設計業協会の会員の皆様方におかれましては、日頃より技術の研鑽に努められ、測量設計業の健全な発展、さらには社会基盤の整備や地域社会の発展に大きな役割を果たしてこられたことに深く敬意を表します。

また、本県との防災協定の締結など、県政全般にわたり格別の御支援、御協力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

愛知県は、産業首都と言われるにふさわしく、製造品出荷額等が42年連続日本一であり、また、県内総生産（GDP）が約40兆円と東京に次いで全国２位となっております。こうした勢いを加速させ、「日本一元気な愛知」の実現に向けて様々な事業に取り組んでおります。

2005年愛知万博の理念を継承し、国内外で愛されてきたスタジオジブリの作品を伝え残していく「ジブリパーク」構想については、2022年秋に開業する予定の「ジブリの大倉庫エリア」など３エリアの工事に着工してまいります。

2026年のアジア競技大会の開催、そして、2027年度にはリニア中央新幹線の開業を控えるなど、大きなプロジェクトが控えております。

リニア中央新幹線の東京都－名古屋市間の開業により、人口５千万人規模の大交流圏が誕生いたします。こうしたリニア開業のインパクトを最大限に活かしていくため、名古屋駅のスーパーターミナル化や中部国際空港の２本目滑走路、航空ネットワークの拡充、さらには、名古屋環状２号線、西知多道路をはじめとした広域幹線道路の整備や物流の拠点となる名古屋港、三河港、衣浦港の機能強化の取り組みなど、社会基盤の戦略的な整備を進めていく必要があります。

一方で、近年は全国で集中豪雨や地震がが頻発し、また本年７月には熊本県や岐阜県などにおける豪雨により甚大な被害が発生しております。本県は、日本最大の海抜ゼロメートル地帯を有し、また、南海トラフ地震の発生が危惧される中、ハード、ソフトの両面から強力に防災、減災対策に取り組み、強靱な県土づくりを進める必要があります。

また、高度経済成長期に集中的に整備された地域を支えるインフラは、急速に老朽化が進んでいくことから、個別施設計画に基づいた点検・診断、修繕・更新などのメンテナンスサイクルの構築に努めるなど、将来の県民生活や社会経済活動を守る対策にしっかりと取り組んでまいります。

労働環境に目を向けますと、日本全体の生産年齢人口が減少する状況下で、建設業界におきましても、就業者の高齢化や次世代を担う若手技術者の不足など厳しい状況に直面しております。このため、施工時期の平準化に向けた繰越明許費の活用やICTの活用などにより、働き方改革の促進や建設現場の生産性の向上を推進していかねばなりません。

これらの施策を着実に進めていくためには、皆様方の確かな技術力と豊富な知識や経験が必要不可欠であります。

本年は、新型コロナウイルス感染症の危機に直面しつつも、業界の皆様とともに、本県の社会基盤の整備を停滞させることなく推進してまいります。今後とも、本県の建設行政に一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げます。

公益事業への取り組み

平板測量競技会への支援

測量委員会
副委員長　吉本　三広

1.はじめに

「令和２年度 愛知県農業クラブ連盟平板測量競技会」が、７月14日に愛知県立稲沢高等学校で開催されました。日ごろ学習した測量技術を競い合う大会で、毎年実施されています。愛知県下連盟所属高校６校にて競い合いました。なお、目指していた10月開催予定の第71回日本学校農業クラブ全国大会静岡大会は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

当協会は、競技審査を担当しました。生憎の雨模様でしたが、競技進行上のトラブルもなく、無事終了することができました。

2.競技会の概要

日ごろの教科学習や実習で習得した測量技術の実力を発揮し、さらに測量技術能力を高めることを目的に開催されました。

2.1開催場所、日時

場所；愛知県立稲沢高等学校　グランドにて
日時；令和２年７月14日（火）雨一時曇
　　午前９時50分から午後３時30分まで

2.2競技内容

第一次作業；平板測器による境界線測量
第二次作業；面積測定のための距離測定作業
第三次作業；図面補正、図面仕上ならびに三斜法、三辺法による面積計算

2.3審　査

現地作業状況について、動作、精度等をチェックシートにより審査を行いました。

2.4競技結果

安城農林高校、猿投農林高校、鶴城丘高校、稲沢高校、田口高校、渥美農業高校の６校による競技の結果、最優秀校１校および優秀校２校が選ばれました。

最優秀校・・・稲沢高校
優秀校・・・・田口高校、安城農林高校

最優秀賞の稲沢高校は、大正３年に「稲沢町立園芸学校」として開校（創立106年）され、昭和24年に現在の「県立稲沢高等学校」に改称されました。「よい個人形成、よい市民育成、よい職業人養成」を教育目標とし、専門的な知識・技術に基づく高い職業意識を身に着けた人間形成を目指しています。彼らの活き活きとした動作や掛け声に、その目標成果を感じることが出来ました。

3.おわりに

競技会運営は、開催校稲沢高校生徒の皆様が担当し、受付や準備、雨の中での手配、運営と忙しく競技会を裏方として支えたことに敬意を表します。

競技会終了後には、国土地理院次長志田様の測量に関する講話があり、学習の参考になったかと思います。

最後に協会会員７社10名の皆さまのご支援に、紙上をお借りし深く感謝申し上げます。

開会式にて川﨑委員長挨拶

測る　雨、、、走る　測る

新社長紹介

株式会社　葵設計事務所

代表取締役

中西（なかにし）　慎仁（しんじ）

建設コンサルタント
株式会社 葵設計事務所

弊社は、昭和45年に蒲郡市で創業し、本年50周年の節目を迎えることができました。これも偏に、永年にわたり地元の官公庁様、並びに弊社に関わる全ての皆様からのご指導とご支援の賜と、心より感謝いたしております。

現在は豊橋市に本社をおき、主に愛知県豊田・三河・新城設楽管内の業務を、地元で生まれ育った社員の手により、地元の仕事に携わることの喜びと誇りをもって、技術に真心をこめ、日々取り組んでおります。

近年、私たちを取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、これからの50年に向けて、真摯に「過去」と向き合い検証し、「未来」を創造する契機にしたいと考えています。

「豊かで暮らしやすい地域社会」を実現するための担い手であり続けられるよう、より一層の技術研鑽、社業発展に努力を重ねてまいりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

株式会社　神田設計

代表取締役

吉川（よしかわ）　明宏（あきひろ）

Designing EARTH

KANDA

建設コンサルタント

株式会社 神田設計

−「信用・努力・和」−

弊社は戦後まもなく創業し、建設コンサルタントとして測量・補償調査・土木設計・建築設計の分野で地元愛知の社会資本整備に貢献してまいりました。

創業も70周年を超え、現在は80周年を目指して社訓である「信用・努力・和」の精神を基に社員一同が同じ信念で更なる飛躍を念頭にしております。

近年では、公共事業であるインフラ整備に加え、民間活力により社会を元気にする開発事業へも参画させて頂く機会も増え、官民問わずに柔軟的に対応できる体制を整え、常に顧客へは「喜んで頂ける成果づくり」を念頭に日々考えながら業務を遂行しております。

私は、実務の技術者として会社に勤めておりましたが、今度は経営者という立場になりました。使命感を持ち、皆様のご指導を頂きながら成長していきたいと感じております。

株式会社　大建コンサルタント

代表取締役

廣瀬（ひろせ）　稔也（としや）

地球にやさしさ人に愛

昨年夏に、病床の父より引き継ぐ形で、代表取締役に就任いたしました。異業種からの転身となり、就任以降、社員をはじめ関係者の皆様に支えられつつ、とにかく勉強、勉強といった毎日を過ごしています。

就任後、炎天下の交通量調査に立ち会う機会がありました。こうした多くの地味で大変な作業を積み重ねながら、暮らしを豊かにしていく建設コンサルタントという仕事は、非常にエキサイティングだと感じました。

また、過去に例を見ない集中豪雨や大型台風といった自然災害がもたらす痛ましい爪痕を報道で目にするたびに、建設コンサルタントが携わる人の生命や財産を守るインフラ整備の重要性を痛感しています。

SDGｓ（持続可能な開発目標）にも「11　住み続けられるまちづくりを」という目標があります。これから建設コンサルタントの一員として、人々の「平穏な日常」を支える土台作りの一端を担えるよう精一杯頑張っていきたいと思います。

株式会社　中部テクノス

代表取締役

正岡（まさおか）　佳典（よしみち）

令和２年４月１日に株式会社中部テクノスの代表取締役に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

当社は、航空機、ＵＡＶ、地上レーザ機、MMS（車載型移動計測システム）等のセンシング技術を用いた空間情報サービスを提供しております。

計画・調査段階の地形情報、i-Construction、施設点検、公共施設の保守・管理の台帳、文化財等の様々な事業において、お客様のニーズにお答えできる３次元データ・コンテンツを生産するソリューションを提供しています。

これらの分野でお客様が安心できる良い品質の成果をご提供すること。 お客様のご要望、悩み事について迅速に技術サポートできるソリューションを提供すること。法令遵守、社会倫理を尊重し、社会に貢献する企業に成長することを目指して日々邁進しています。

新入社員紹介

氏名
長嶋　優依（ながしま　ゆい）
勤務先
㈱アイエスシイ
入社年月日
2020年４月１日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
入社当初は、仕事や人間関係など新しい環境に不安を感じていました。ですが、丁寧に教えてくださる先輩や上司のおかげで、今では働きやすい会社であると感じています。
【将来の目標・夢】
これから一つでも多くの知識や技術を身に付けて、周りに信頼されるようになりたいと思います。そのために目の前の仕事を、作業内容だけでなくその目的や意味を理解した上で、一つ一つ着実に進めていこうと思います。

氏名
内藤　秀飛（ないとう　ひでと）
勤務先
㈱愛河調査設計
入社年月日
2020年４月１日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
学生時代のアルバイトとは違い、仕事量や仕事の精度、責任を求められるため、不安しかありません。今できる最大限の能力で、まずは与えられた業務をこなせるようにし、できる範囲の仕事を覚えること。無理をしないで焦らずに食らいついて頑張りたい。
【将来の目標・夢】
確かな知識と技術を持ち合わせた、一人前の技術者になること。なるためには、日々の地道な経験と努力を怠らないこと、１人で抱え込まず、周りを頼ること。
少しでもこの業界で貢献できるよう目標持って日々研鑽していきたい。

氏名
杉山　雄太（すぎやま　ゆうた）
勤務先
アローコンサルタント㈱
入社年月日
2018年４月１日

【尊敬する人】
会社の先輩・上司
【入社して感じたこと】
大学では構造物の特徴や使用する材料の規格等を習いましたが、仕事ではそれらを応用して、構造物ごとに材料の規格を決め、施工に掛かる費用を算出するなど講義で学んだことだけでは仕事を進められないと感じました。
また学生時代は試験で失敗しても困るのは自分だけでしたが、仕事の場合は手戻りとなり、上司に迷惑を掛けることから十分チェックして作業を進めていきたいです。
【将来の目標・夢】
色々な業務を通して基準書の内容を覚え、それらを適用する経験を積み重ね円滑に仕事を進める能力を身につけたいです。また、コミュニケーション能力を向上させる努力を常に心掛けて仕事を進め、自分の設計に自信を持って説明できる技術者になりたいです。

氏名
二村　早紀（ふたむら　さき）
勤務先
㈱石田技術コンサルタンツ
入社年月日
2019年１月１日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
入社して１年以上経ちますが、日々業務の大切さや難しさを感じています。以前、別の業種で勤めていた際には、細まめにチェックをして正確な仕事をすることを目標にしていましたが、今の仕事では、＋αに基準書などの言葉の読み解きや理解の仕方もあり、大変だと感じました。今もまだ、分からないことがほとんどですが、上司や先輩方の丁寧な指導により自分ができることも少しずつ増え、やりがいを持っています。
【将来の目標・夢】
広い視野を持ち様々な可能性を見出せる技術者になりたいです。そのために、知識の習得・技術の向上・経験を積んで、多種多様な資格の習得を目指していきたいです。

氏名
DAHAL PURUSHOTTAM（ダハル プルショタム）
勤務先
㈱ＭＳＳ
入社年月日
2019年４月１日

【尊敬する人】
酒井社長
【入社して感じたこと】
測量専門学校を卒業し、新卒入社して２年目です。入社して学ぶ事は山ほどあります。職場は学校よりも勉強する事は多いと感じました。社会人になってから最初に学んだことは、責任と時間の使い方です。学生時代と違って、お客様の喜びを作らなければいけません。その為には、責任をしっかり持ち、会社の決まりごとは守る、等をしなければなりません。勉強は１人だけでもできますが仕事はチームワークなので相手のことを考えたり、思いやりの気持ちを持ったりしてよりよく人間関係を作る事はとても大事だと感じました。
【将来の目標・夢】
熱いハートに技術を込めて、時間を作ってプライベートでも勉強したり全力で仕事を覚えて測量士を取得し、外国人として日本一の技術者になることです。

氏名
長岡　誠也（ながおか　せいや）
勤務先
ＮＴＣコンサルタンツ㈱中部支社 技術部
入社年月日
2020年４月１日

【尊敬する人】
大学の恩師
【入社して感じたこと】
常に明るい雰囲気の職場であり、働きやすい環境であると感じています。また、フロアーの何処かでは、業務に関する難しい議論が行われています。経験を積み、早く議論に参加できるようになることが、日々のモチベーションに繋がっています。
【将来の目標・夢】
目先の目標として技術士の獲得があります。そのために、日々の業務に対して真摯に取り組み、何事にも積極的にチャレンジしていきたいと思っています。
将来の夢は、日本の農業が末永く受け継がれていくために、農業水利施設をより良いものに進化させていくことです。少しでも自分の力で貢献できればと考えています。

氏名
刀根　拓也（とね　たくや）
勤務先
㈱オオバ名古屋支店
入社年月日
2020年４月１日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
部や課を問わずに社内でのコミュニケーションが活発であり、仕事とは関係のないことも気軽に話せる良い雰囲気を感じています。上司・先輩方は事業の意味や仕事に対するアプローチの方法などを丁寧に教えてくださり、とても勉強になっています。
【将来の目標・夢】
技術者として様々な知識や技術を身につけ、幅広く色々な場で活躍できるようになりたいです。そのためにも資格取得に力を入れることで知識や技術を深めていきたいと考えています。失敗することもありますが、失敗のまま終わらせずに、次に活かせるにはどうしたらよいかなど模索し、どんどんステップアップしていけるよう日々考えて行動するということを大切に頑張りたいです。

氏名
西牧　智康（にしまき　ともやす）
勤務先
㈱大増コンサルタンツ
入社年月日
2020年４月１日

【尊敬する人】
上司や先輩方
【入社して感じたこと】
入社をしたことで、自分の未熟さや仕事の難しさを肌で感じました。実際の現場では、多種多様な仕事であふれており、一様ではない難しさとやりがいを感じました。
【将来の目標・夢】
今はまだ業務に対する考え方がわからず、先輩や上司の方々に支えて頂きながら一歩一歩進んでいる状況ですが、将来的には自分の力で判断し、業務をこなせるようになりたいです。

氏名
鈴木　尚悟（すずき　しょうご）
勤務先
㈱大増コンサルタンツ
入社年月日
2020年４月１日

【尊敬する人】
会社の上司
【入社して感じたこと】
入社当初は、やっていけるのか不安でしたが、上司の方々が基礎的なことから丁寧に指導してくださり、技術や専門知識を身に着けてきました。まだ新人で、これから身に着けていくべきことはたくさんありますが、そういった努力もやりがいだと感じながら過ごしていきたいです。
【将来の目標・夢】
上司の方々のように、後輩への指導や顧客に説明ができ、取引先と円滑に仕事を進められるのに必要な知識や資格などを身に着けていきたいと思っています。
そのためにも、与えられた仕事をこなしながら技術や知識を身に着け、一人前の技術者になれるよう日々精進していきたいと思います。

氏名
河地　達矢（かわち　たつや）
勤務先
㈱新日
入社年月日
2019年４月１日

【尊敬する人】
お世話になった先生方
【入社して感じたこと】
入社１年目から道路・河川・水道等が関わる土地開発事業に携わり、複数の分野の知識が糸玉のように絡まることが多く、情報を理解し整理するまでに時間がかかってばかりでした。しかし、１年勤めた今では経験が少しずつ活き始めるようになりました。先輩方の業務に対する姿勢とノウハウは、当初は難しく感じましたが後々で活かせる場面が出てくると思うので今後も吸収していきたいです。
【将来の目標・夢】
私は道路が好きで、事故の無い道路環境を整備したいという思いでこの業界に入りました。ですからまずは道路分野の資格を取り、得た知識を余すことなく活かし、事故の危険のない道路環境を造りたいと考えています。

氏名
杉山　智美（すぎやま　ともみ）
勤務先
玉野総合コンサルタント㈱
入社年月日
2019年４月１日

【尊敬する人】
親、上司
【入社して感じたこと】
毎日多くの新しいことを学ぶことができ、とても楽しく思っています。文系の学部を卒業した私にとって、地図作成業務も測量も、なにもかも全く知らない世界でした。入社して１年半、周りの上司の方々に教わって業務への知識と理解を深めている最中です。大変ではありますが、日々やりがいと面白さを感じています。
【将来の目標・夢】
まずは多くの業務経験を積み、様々な業務を遂行できるようになりたいと思っています。そして、早く一人前の技術者になれるよう日々努力していきます。

氏名
松岡　奏太（まつおか　かなた）
勤務先
㈱拓工
入社年月日
2019年４月１日

【尊敬する人】
先人の土木技術者
【入社して感じたこと】
大学で土木を学んで入社しましたが、それでも分からないことが多く不安や悩むことが多いのですが上司の方々が丁寧で親切に教えてくださるおかげで以前よりも自分で考えてできることが増え、不安や悩みも少しずつなくなっているように感じます。
【将来の目標・夢】
基礎的な技術力や知識を早く身につけ、先輩方の力になれるように努力したいです。そのためにも１日１日を大切に今の自分の全力で日々取り組んでいきたいと思います。また自分だけの武器を早く見つけ伸ばすとともに、多くの人に頼られる先輩方のような技術者になりたいと思っています。

氏名
小林　航（こばやし　わたる）
勤務先
㈱中部テック
入社年月日
2018年8月1日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
前職は、自動車教習の運転を教える指導員で、営業職ではなかったため、入社当初はどのような営業をして、営業先でどのような話をすれば良いのか不安でしたが、先輩方の丁寧なアドバイスにより、徐々に不安が解消されました。今までの経験を生かして発注者への提案、アドバイスができるようになりたいです。
【将来の目標・夢】
発注者の要望に正確に応えることができる知識や、正確に物事を伝える等コミュニケーション能力を習得し、発注者や会社から安心して仕事を任せられるようになりたいです。

氏名
伊藤　早紀（いとう　さき）
勤務先
中日本建設コンサルタント㈱
入社年月日
2018年4月1日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
入社3年目となり、まだまだ分からないことも多いですが、上司の方々に丁寧に指導していただけるので、少しずつ知識や出来ることが増えてきたように感じています。
また、様々な業務に携わる中で、物事を色々な視点から捉えて多様な解決方法を考えることや、ニーズにあった提案をするためのコミュニケーション能力がとても大切であることを感じています。
【将来の目標・夢】
技術士を取得すること、それと共に周囲から信頼される技術者となることが将来の目標です。その目標を達成するためにも、積極的に知識を身につける姿勢を忘れず、日々の業務1つ1つを丁寧にこなしていきたいです。

氏名
森本　匠（もりもと　たくみ）
勤務先
早川都市計画㈱
入社年月日
2018年4月1日

【尊敬する人】
社内の上司・先輩方
【入社して感じたこと】
アットホームな雰囲気で、上司や先輩に対しても質問がしやすく、働きやすい環境だと感じています。また、Slack や zoom 等、様々なコミュニケーションツールを積極的に取り入れており、多種多様な働き方ができます。
【将来の目標・夢】
今年で入社して3年目になり、まだまだ分からないことやミスをしてしまうこともありますが、企画営業部として発注者はもちろん、社内からも信頼される人になりたいと思っています。また、資格取得にも積極的に取り組み、様々な知識を身に着け、会社や社会に貢献していきたいと思っています。

氏名
岩田　俊平（いわた　しゅんぺい）
勤務先
㈱名邦テクノ 設計事業部 都市整備課
入社年月日
2020年4月1日

【尊敬する人】
両親
【入社して感じたこと】
社会人として、自分の言葉を相手に伝える難しさや、自分が発した言葉の重みを痛感し、現在研鑽中です。
いまの私はまだ経験が少ないことから、自信をもった行動が取れていないため、日々の業務の中での経験を積み重ねて、自信をもって業務に取り組めるようになりたいと思っています。
【将来の目標・夢】
まずは、技術者としての専門的な知識や技術力の向上に努めていきたいです。そのために、些細なことにも興味を持ち、様々なことを吸収していきたいです。
また、将来的には、この分野なら任せようといってもらえるような得意分野を作り、周りの人から信頼される技術者になりたいと思っています。

「新技術への取り組みと将来への夢」

――若手・中堅技術者からの投稿

氏名
髙木　啓太（たかぎ　けいた）
勤務先
㈱石田技術コンサルタンツ
技術本部設計グループ

高等専門学校で土木に関する学科に入学し、一度は道路会社に就職しましたが、自分自身で道路や公園、橋梁等の計画・設計をしたいと思い、建設コンサルタント業界に転職しました。来年には、節目となる社会人10年目を迎えることになります。

そんな私が現在挑戦していることは、資格取得と自立型問題解決姿勢です。

私は主に、市町村の公共施設の設計を担当していますが、近年の人口減少や建設業界離れに伴い、技術者がいない市町村もあります。その中で、事業を円滑に進めるためには、相手からの信頼されることが重要です。そのためにも自分自身が、技術士やRCCMといった土木関係に精通した知識、技術力を兼ね備えた資格を持つことが大切だと考えています。

また、設計していると、大小かかわらず様々な問題が発生します。そういった問題に対して、自分の能力と可能性を最大限に発揮して解決していこうという自立型問題解決姿勢で取り組むことが大切だと思います。こういった姿勢で仕事に望むことで、自分自身が成長していく一歩だと感じています。

まだまだ、仕事についても覚えることも多いですが、まずはこの２つを積極的に取り組んでいきたいと思います。

氏名
DAMITH SANJEEWA（ダミス　サンジィーワ）
勤務先
㈱ＭＳＳ
技術部測量課

私は、福岡の測量専門学校を2012年に卒業しました。子供の頃から地図を見ることに興味があったので測量会社で働く事を決めていました。MSSに入社して５年目になりますが、この５年間様々な測量の経験ができ、成長につながっています。GNSS測量、3D測量、基準点測量、水準測量、平面測量、路線測量などをおこない現場で測量した三次元データを使用し図面作成をします。また最新のトータルステーションを使い現場作業をワンマンで出来る様に頑張っています。また、基礎杭工事にかかわるパイリングメジャ-メント工法（PM工法）という独自な測量もしています。測量CADソフトの使い方や効率良く図面をきれいに描く事が出来ていますので自信をもって測量の仕事を頑張っています。

私が測量した所に新しい道路や橋など構造物を出来ているのを見るととても嬉しくなります。当社は公共測量や工事測量が多く普段は、一般の人が行けない所に行って測量しています。また出張で日本のいろんな所を見る事が出来て嬉しく思います。安心安全な街作りや、もし災害が起きた時にも測量は必ず必要です。世の為人の為に、未来のために社会に役に立つ仕事ですのでやりがいがあります。今年の一月にスリランカ人で最初の測量士を取得し、よりお客様に安心と利益を提供していく気持ちです。

日本の道路や橋など構造物は海外と比べると、とてもきれいなのは、しっかり測量をしているからだと思います。現在日本で学び実践している素晴らしい測量技術を、現在発展中の私の国(スリランカ)にもいつか伝わるようにするのが私の夢です。これからは3Dレーザースキャナ やUAVなどの最新技術を習得するように勉強して行きたいです。気合があればどんなチャレンジも出来る事を意識して、これからも頑張って行きます。測量技術者としてもっと、測量の知識を身に付けてお客様に利益を提供し、社会貢献できるように頑張って行きたいと思います。

「新技術への取り組みと将来への夢」

氏名
川北　あかり（かわきた　あかり）
勤務先
ＮＴＣコンサルタンツ㈱
本社　計画部

学生時代、理工学部に在籍し、水に関わる仕事がしたいと考え、農業農村整備事業に強みを置く弊社に入社し、５年が過ぎました。

私は、計画部で用水計画を主とした業務に取り組んでいます。

計画部では、現地の土地改良区の方や農家の方と関わることが多いため、私の業務の成果次第で今後の土地改良区の方、農家の方の水管理、生活が変わってしまうと思うととても責任がある仕事だと感じています。

毎年、業務を進めるうえで行き詰ることが多々あります。その時は上司に相談し、解決に向けて取り組んでいます。成果品になるまで大変ですが、提出できた時の達成感は大きく、この仕事にやりがいを感じます。

今後は、計画部で利用している地理情報システムを現場で利用し、調査の簡略化に努めるほか、入社６年目の中堅社員として後輩の教育や、相談役となり、自分自身の成長にもつなげていきたいと思います。

氏名
中村　竜平（なかむら　りゅうへい）
勤務先
㈱大増コンサルタンツ
空間計測部

【中堅技師から熟練技師への意識変化】

『あぁ・・しまった。またやってしまったか。』と、20年以上も測量をやっているとたまに冷や汗をかくことがあります。

読んでいただいている方も大なり小なり同じ経験をされたことがあると思います。

仕事は完ぺきに行わないといけませんが、どうしようもなくスピード勝負になることもしばしばあります。

経験則でこれくらいなら・・大丈夫と見込みで行った結果、たまにね。失敗してしまうんです。

その度に『初心忘るべからず』『急がば回れ』『技術者倫理の遂行』。先人に習った通り、時間がとりづらくても、現場実測を行い原則に立ち返ります。

こういった日々を繰り返して月日が経過し、いつのまにかなんとなくベテランになっていくのは、少し寂しいと思い40代に差し掛かるときに、どこに意識の重点を置くかを考えたことがあります。

平凡ですが、社内・社外において有益な人材であり、技能面では点群処理の修得です。

中堅時代は作業規程、工程管理の習得、現場応用などたくさんの技術を培いました。

今後はそれらの経験に裏打ちされた技術提案を行い、後継へ技術継承をすすめて測量業界を明るくしていくことが、ベテラン技師に課せられた責務であろうと考えています。

氏名
藤原　武司（ふじわら　たけし）
勤務先
㈱神田設計
測量調査部

入社時は、測量をどうしてもやってみたいと思っていたわけではありませんが、気が付けば15年以上の長い間この仕事を続けていました。当社では、基準点測量、水準測量、用地測量、現地測量、３次元測量等のさまざまな業務を行っていて、希望すればやりたい仕事が出来る環境から、とにかく、いろいろな種類の測量に携わらせて頂き、より幅の広い知識や経験が出来たことも長く仕事が出来ている一因ではないかと思っています。

近年では特に３次元測量に力を入れています。初めて３次元測量を行い、パソコン画面を見たときは非常に興味深いと感じました。３次元測量のメリットとして、以前の平面的な成果とは全く違った３次元的によりリアルに表現することが出来ること、短時間で複雑な地形や構造物を測れること、立ち入ることが出来ない現場を測れること、現場の計測し直しが少ないこと等、かなりのメリットがあると思います。現在は、地上型レーザースキャナをメインに取り組んでいますが、今後は、UAVやMMS等と併用して現場作業を行うことを考えています。

また、総合コンサルタントとして、当社は建設技術部と連携したCIM、また、建築設計部と連携したBIMを進めております。まだまだ、勉強段階でいろいろと分からないことだらけですが、時代と共に要求される新技術として、まず、測量分野における３次元化をさらに挑戦していきたいと思います。

氏名
鈴木　新司（すずき　しんじ）
勤務先
㈱新日
調査測量部

私が株式会社新日に入社して24年が経過しました。ここ数年間は地籍調査を中心に業務を実施しており、それ以前は基準点測量、路線測量、用地測量などの地上測量業務全般に携わってきました。

最近では三次元データへの需要が急速に高まり、実際に利用される機会が広まっております。

地籍調査においても、三次元点群データの活用による『リモートセンシング技術を用いた山村部の地籍調査マニュアル』が制定されております。このマニュアルでは、①山村部で高齢化・過疎化等の人口減による境界情報の喪失が進んでいる地域、②急峻な地形が多く立会いによる確認が困難な地域、③近年多発している地震や豪雨等の自然災害への早急な対応が必要な地域など、迅速かつ効率的な地籍調査の導入推進が求められる地域において、リモートセンシング技術の導入が地籍調査の進捗を加速させると期待されています。

また、弊社でも地上型レーザースキャナやＵＡＶ等を導入し、効率的な利活用方法を模索しており、経営理念の「奉仕に徹し、一歩、一歩、また一歩」を教訓に日々挑戦していきたいと思います。

氏名
井上　壮（いのうえ　そう）
勤務先
㈱中部テック
設計部

1.私について
　私は、株式会社中部テックに入社して４年目になります。現在は道路設計を行っており、線形検討に悪戦苦闘しています。

2.錯綜する考え
　現況幅員５ｍの道路を拡幅する業務なのですが、沿道には左右交互に家屋が点在しており、地元住民や発注者等から以下のような要望もあり、それらを考慮していく必要がありました。
・地元の要望
　家屋の移転が発生しないようにしてほしい。
・発注者の計画方針
　将来的な幹線道路として線形や幅員を確保するものの、現時点では家屋を回避するため曲線を多用し、生活道路的な考えで暫定整備する。
・警察の意見
　将来的な幹線道路としてのコンセプトの基、直線的な安全重視の線形とする。

　これら全てに応えようと何種類もの線形を作成しましたが設計の方向性が見出せず、収拾がつかない状況となってしまいました。

3.この経験を活かして
　要望に全て応えるのではなく、設計の方向性をきっちり決め、技術的な根拠や柔軟な発想をもって、互いに納得した上で、案を絞り込んでいく大切さを学びました。今後は、技術力や提案力を向上できるように力をつけていきたいと思います。

氏名
小林　良介(こばやし　りょうすけ)
勤務先
ニチイコンサルタント㈱
測量部

　私は学生時代のアルバイトがきっかけで測量に携わりました。弊社には平成24年に入社し、８年が経ちました。入社以来測量部に所属し、基準点測量、路線測量、用地測量、民間工事の起工測量までの地上測量全般を主に行っております。弊社は比較的用地測量の受注が多く、とりわけ国道の官民査定業務では、顧客要望に対応するため、日々の工程管理、作業効率の重大性やスピード感が求められる中での的確な判断力が必要で、悪戦苦闘しながら、ようやく業務をやり遂げた時の達成感と喜びはひとしおでした。令和元年度には弊社の実施した基準点業務において、(公社)日本測量協会より「公共測量測量品質管理優秀賞」の受賞を受け、これまで培ってきた技術の集大成であり、この結果を糧に今後も測量技術の研鑽に努め、さらなる品質向上を目指すと同時に若手社員に対しての技術継承を行う必要があると思います。
　また、近年ではi-Constructionをはじめとする測量技術も飛躍的進化し、今後の主流になっていくと感じています。時代の流れに乗り遅れないよう日々勉強し、知識の向上を行っていきたいと思います。

協会・委員会活動報告

協会活動報告（令和元年度～令和２年度上半期）

愛測協事務局

【令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）】

1.主な会議開催状況（総会、理事会、委員会）

1）第46回定時総会

日　時　令和元年５月13日
場　所　名鉄ニューグランドホテル
議　題　（全議案承認）
第１号議案 平成30年度事業報告について
第２号議案 平成30年度収支決算の承認
第３号議案 令和元年度事業計画について
第４号議案 令和元年度収支予算について
第５号議案 定款変更について
第６号議案 役員の選任について

久松総務委員長の司会により、今村会長の挨拶、吉本理事を議長に選出し、第１号議案から第６号議案まで審議が行われ、各議案とも原案通り承認された。

記念講演会（総会閉会後）
テーマ　愛知県の建設事業について
講　師　愛知県建設局土木部建設企画課長
藤田　泰弘 様

2）理事会

第１回　令和元年５月９日
・平成30年度収支決算について
・第46回定時総会について
第２回　令和元年６月17日
・令和元年度定時総会について
・各委員会の活動状況について
第３回　令和元年８月５日
・各委員会の活動報告について
・測量競技会及び地図教室について
第４回　令和元年10月７日
・県との定例勉強会について
・各委員会の活動状況について
第５回　令和元年12月19 日
・各委員会の活動状況について
・賀詞交歓会について
第６回　令和２年３月24日
・令和２年度の事業計画（案）及び収支予算（案）について
・役員改選に伴う理事候補案の提示及び新事務局長紹介について
・各委員会の活動状況について

3）委員会

ⅰ）総務委員会
第１回　令和元年６月24日
・各行事及び定例勉強会について
第２回　令和元年12月３日
・賀詞交歓会・営業研修会について
・コンプライアンス講習会報告
第３回　令和２年３月19日
・次年度予算について
・測量業務の特記仕様書について

ⅱ）広報委員会
第１回　令和元年５月31日
・「方位」について
第２回　令和元年９月18日
・「方位」について
第３回　令和元年12月３日
・ホームページ更新について
・委員会費用について

ⅲ）測量委員会
第１回　令和元年５月30日
・測量競技会について
第２回　令和２年２月27日
・ 活動報告について
・ 地図教室について

ⅳ）建設コンサルタンツ委員会
第１回　令和元年５月31日
・委員会スケジュールについて
第２回　令和元年７月２日
・各A・I事業について
第３回　令和元年８月８日
・各A・I事業について

第４回　令和元年10月11日
・各A・I事業について
第５回　令和元年12月５日
・各A・I事業について
第６回　令和２年３月６日
・各A・I事業について
・令和２年度委員会活動について

ｖ）危機管理委員会
第１回　令和元年５月８日
・委員会スケジュールについて
・災害査定及びBCPアンケートについて
第２回　令和元年７月30日
・災害復旧等関連業務研修会について
第３回　令和元年10月３日
・災害復旧等関連業務の研修会について
・大規模災害時における中部地区協議会の連携と体制等について
・UAVアンケート調査について
第４回　令和元年11月21日
・UAV保有状況に関するアンケート結果について
・大規模災害時における中部地区協議会の連携と体制等について
第５回　令和２年２月20日
・次年度活動内容について
・他団体との連携について

２.主な事業活動状況

１）監事による会計監査

平成31年４月26日、平成30年度の会計及び業務について、藤本、長谷川両監事により監査が実施された。

２）要望活動の実施

①令和元年５月20日、正副会長が愛知県 林建設局長はじめ幹部へ『協会員の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。

引き続き、５月末から６月初旬に、全会員が25班に分かれ県内の全発注機関に対し、同旨の要望活動を実施するとともに、委託業務に係わる前払金制度未導入の市町村に導入を要望した。併せて、テクノアイ17号を配布した。

②令和元年６月17日、正副会長、総務委員長及び若手経営部会長が、愛知県建設局長、土木部長、両技監、建設企画課長、用地課長、道路維持課長へ、久保田、杉浦、佐藤、飛田顧問の同席を得て、『協会員の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。

③令和元年７月３日、４日に正副会長と総務委員長が県内全建設事務所長を訪問し、同旨の要望活動を実施した。

④令和元年９月５日、自由民主党愛知県支部連合会主催の「政策懇談会」に会長、青木副会長(政治連盟会長)が出席し、国に対しては「災害等の支援要請に対応するために地域・地元への受注機会の拡大と経営基盤の安定を図る事への支援して頂くこと」、県に対しては「防災・減災事業となる施策資源を重点的に投入して頂くこと、発注時期の平準化や適切な納期設定など働き方改革に繋がる施策に積極的に取り組んで頂くこと」等を強く要望した。

３）災害緊急時協力体制のＰＲ活動の実施

令和元年６月中旬に、全建設事務所を各地区の正副幹事会社が訪問し、愛知県知事との災害協力に関する協定に基づく当協会の体制についてPRした。

４）測量競技会の後援

令和元年６月12 日、県立安城農林高校で開催された愛知県学校農業クラブ連盟（県内農業高校測量科７校加盟）主催の測量競技会県大会を後援、協賛した。当協会は、審査員等12名を派遣し、７チームが参加した測量競技の審判採点の他、参加生徒へ最新測量機器の取扱い説明や実習指導を行い、競技大会をバックアップし、優秀校に対し当協会の会長表彰を行った。

５）地図教室（測量の日記念行事）の実施

国土地理院中部地方測量部と合同により、地図教室として小学校児童に測量の体験学習を行った。

中部地方測量部は、出前授業で「地図が出来るまで」を講演、その後、協会会員による「測量体験学習」を実施した。

今年度も開催希望の小学校が多く、その中から令和元年６月25日に名倉小学校（設楽町）、９月４日に片原一色小学校（稲沢市）、９月９日に西浦小学校（蒲郡市）の３校、３・４・５年生を併せて81名を対象に開催した。

６）災害等緊急時における連絡模擬訓練

①令和元年８月29日、名古屋市との災害協定に基づき、（一社）名古屋市測量設計業協会と合同で実施される名古屋市緑政土木局主催の情報伝達訓練に参加した。

②令和元年９月５日、愛知県との災害協定に基づき、災害等緊急時における連絡模擬訓練を実施した。

県内広域で大規模地震が発生したとの想定のもと、第１報で会員の安否確認の後、会長を本部長とする災害対策本部を設置し、第２報で情報伝達、出動可能な技術者数の把握などの訓練を実施した。

７）他測量設計業協会との意見交換会の実施

（一社）石川県測量設計業協会、（一社）兵庫県測量設計業協会、（一社）大分県測量設計コンサルタンツ協会及び当協会の４県合同次世代交流会を開催した。

月　日　令和元年８月７日
場　所　神戸市産業振興センター９階会議室
出席者　愛 測 協：山本部会長始め ７名
石川測協：磯野次世代研修委員長始め12名
兵庫測協：田村理事始め11名
大分測協：馬原理事始め５名
計　35名

石川測協と２回に亘って行ってきた「次世代交流会」に、兵庫測協、大分測協を交えて開催し、「人材確保・人材育成」、「各測協の取り組み」を中心に意見交換や情報共有を行い、各測協ならではの視点や展望について意見交換会を行った。

８）災害査定に関する座談会の開催

月　日　令和元年８月27日
場　所　名古屋都市センター
参加者　44社97名
テーマ①「協会BCPについて」
危機管理委員会 副委員長　山本　成竜
テーマ②「災害復旧等関連業務の全体の流れ、留意点について」
危機管理委員会 委員　河　正根
テーマ③「災害復旧等関連業務の事例紹介」
危機管理委員会 副委員長　早川　正喜

前年度に災害復旧等関連業務経験者を集い、実務担当者の意見集約、災害復旧等業務の問題点・課題の整理を目的とした座談会を行い、災害復旧等関連業務における一連の流れや留意点をまとめ、会員対象に災害復旧等関連業務に対する研修会を開催した。

９）シビルエンジニアＡ・Ｉの開催

月　日　令和元年９月25日
場　所　愛知県知立建設事務所
参加者　33名

建設事務所職員の方々と会員各社のリーダー的技術者との意見交換会を開催した。

第７回目となる今年度は、知立建設事務所にて３グループに分かれて発注者、受注者がそれぞれの立場で、今後の公共事業の円滑な進行と品質の向上を目指して率直な意見交換を行った。

10）愛知県建設局との定例勉強会

月　日　令和元年10月17日
場　所　ウィルあいち
出席者　愛知県建設局土木部建設企画課長
藤田 泰弘 様　始め　20名
協会　今村会長始め　17名

愛知県建設局本庁及び各建設事務所の代表に県行政の方針、測量設計業者への要望等をお聞きした。

また、協会側からは協会員の受注機会の拡大要望はじめ、委託業務遂行上の疑問点や改善点などについて幅広く意見交換を行った。

Ａ　災害に対する対応について
Ｂ　入札関係について
Ｃ　業務関係について
Ｄ　働き方改革の実施による委託業務発注の対応について
Ｅ　各建設事務所への要望及び質問について

11）コンプライアンス講習会の開催

月　日　令和元年11月11日
場　所　ホテル名古屋ガーデンパレス
テーマ①「独占禁止法の概要」
講　師　公正取引委員会事務総局　中部事務所
経済取引指導官　樋田　高文　様
テーマ②「消費税転嫁対策特措法について」
講　師　公正取引委員会事務総局　中部事務所
消費税転嫁対策調査室 主査　齋藤　誠誉　様
参加者　31社52名（全体271名）

独占禁止法等の法令順守の徹底を促すため、（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部、（公社）全国上下水道コンサルタント協会中部支部、（一社）中部地質調査業協会、（一社）日本補償コンサルタント協会中部支部及び当協会の５協会共同により、独占禁止法順守に関する講習会を開催した。

12）全員研修会の開催（産学官Ａ・Ｉ同時開催）

月　日　令和元年10月28日
場　所　ウィルあいち
テーマ　令和元年度上半期の協会活動報告
参加者　39社52名

13）産官学Ａ・Ｉの開催（全員研修会同時開催）

月　日　令和元年10 月28日
場　所　ウィルあいち
参加者　39社61名（全体72名）
テーマ「豪雨災害のメカニズム～事例に学び、
将来に備える～」
講　師　名古屋大学大学院工学研究科
土木工学専攻　教授　戸田 祐嗣 様

近年、台風の大型化や気候変動の影響を受け、豪雨災害の発生メカニズム、愛知県下における災害の特色と対策を学び、災害査定・復旧支援、更には会員のBCP・BCMに役立てる活動として、勉強会を開催した。

14）測量研修会等に講師を派遣

愛知県建設局等からの依頼に応じて、測量や用地実務等についての研修会に講師を派遣した。受講者は、県職員及び事務所管内の市町村などの担当職員が中心であった。

○特殊車両通行許可申請審査業務研修会

県道路維持課の依頼により、特車審査事務を担当する県、市町村職員、道路公社職員に対して許可制度の概要や審査実務の講義を行った。

①第１回講師派遣（三河地区）
月　日　令和元年５月13日
場　所　愛知県西三河総合庁舎 大会議室
参加者　34名

②第２回講師派遣（尾張地区）
月　日　令和元年５月15日
場　所　愛知県自治研修所 大教室
参加者　59名

○建設技術研修会

県建設企画課の依頼により、県及び市町村職員を対象とした「測量設計業務委託監督基礎講座」に講師を派遣し、測量概論と最新の測量技術について講義を行った。

月　日　令和元年６月18日
場　所　愛知県庁大手庁舎 大会議室
参加者　59名

○豊田市建設技術職員研修
月　日　令和元年10月24日
場　所　千石公園（豊田大橋下）
参加者　10名

○測量技術講習会

①第１回講師派遣
月　日　令和元年10月30日
場　所　愛知県新城設楽建設事務所
参加者　26名

②第２回講師派遣
月　日　令和元年12月11日
場　所　愛知県東三河建設事務所
参加者　23名

○用地事務講習会

①第１回講師派遣
月　日　令和元年10月９日
場　所　愛知県尾張建設事務所
参加者　51名

15)「テクノアイ」、「方位」の刊行、配布

30年度に行ったシビルエンジニアＡ・Ｉ（意見交換会）の概要及び、30年度に実施した測量技術講習会及び危機管理委員会の活動報告を取り纏めた「テクノアイ」17号を刊行（1,200部）し、６月に発注機関等を中心に配布した。

10月には、機関誌「方位」42号を刊行（2,000部）し、同月下旬に全会員が26班に分かれて、国、県、市町村など発注機関への配布活動を行った。また、「方位」は、広く一般の縦覧に供するため公立図書館や技術系学校にも配布し、測量設計業と当協会のPRに努めた。

16）賀詞交歓会

月　日　令和２年１月17日
場　所　名鉄ニューグランドホテル

建設局長始め県建設局幹部の方々や顧問の先生方をお迎えして、会員170余名が参加し盛大に新年を祝い、交流を深めた。

17）アソシエーションＡ・Ｉの開催

月　日　令和２年１月21日
場　所　愛知県一宮建設事務所
参加者　79名（内、協会36名）

公共事業の円滑な進行と品質の向上を目指して、発注者である愛知県一宮建設事務所及び施工者である一宮土木研究会と合同で、会員が設計業務を担当した「犬山市新郷瀬川河川改修工事」について現場研修と意見交換を行った。

24年度より開催し、今回で５回目の開催となったが、測量設計の段階と実際の施工時における相違点などについて、三者が率直な意見交換を行った。

18）営業研修会

令和２年２月21日に営業担当者を対象に長島温泉ホテル花水木・ガーデンホテルオリーブにて「会員受注及び決算状況」、「独占禁止法について」及び「減災・防災・災害復旧におけるシステム」をテーマに営業研修会を開催予定だったが新型コロナウイルス感染症の影響により延期とした。

19）イブニングサロンへの参加

異業種や異世代間がフランクな話合いにより相互理解を深め、建設分野の魅力発信と若手人材の育成を目的として、平成25年度に愛知県が中心となり設立した「イブニングサロン」に参画した。

今年度は、７月24日に豊田工業高等専門学校、10月29日に愛知総合工科高等学校、10月31日に名古屋工業大学、11月１日には椙山女学園大学の建設系専攻の学生・生徒等を対象に開催され、コンサルタント業務の具体的な内容などについて学生・生徒と行政機関、産業界の若手技術者が活発な意見交換を行った。

当協会からは会員企業社員が毎回参加し、学生や行政・他団体の技術者などと交流を深めた。

20）愛知県i-Construction推進協議会へ委員を派遣

愛知県では、i-Construction推進協議会を平成30年８月１日より立ち上げ協議を進めており、県の実情を踏まえた施策としてICTや新技術の現場導入などを検討し、建設現場における生産性向上を図ることを目的としたi-Constructionを推進するため、当協会より理事を委員として派遣し、議論に参画した。

21）愛知県建設局との実務者意見交換会

月　日　令和２年３月４日
場　所　愛知県東大手庁舎
出席者　愛知県建設局土木部建設企画課長
　　藤田　泰弘　様始め　６名
　　協会　今村会長始め　17名

愛知県が委託業務として発注されている「工事監督支援業務の活用について」と品確法の改正に伴う「委託業務の発注見通しの公表について」の２テーマについて、幅広く意見交換を行った。

22）関係団体との連携

①令和元年５月31日
愛知県土地家屋調査士会総会に出席
②令和元年６月６日
愛知県土木施工管理技士会総会に出席

【令和２年度（令和２年４月～令和２年９月）】

１.主な会議開催状況（総会、理事会、委員会）

１）第47回定時総会

日　時　令和２年６月２日
場　所　愛測協 事務局
議　題　第１号議案 令和元年度事業報告について
　　第２号議案 令和元年度収支決算の承認
　　第３号議案 令和２年度事業計画について
　　第４号議案 令和２年度収支予算について
　　第５号議案 役員改選について
議　事　今村会長を議長に選出し、第１号議案から第５号議案まで審議が行われ、各議案とも原案通り承認された。
　　今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に規模を縮小し、毎年開催している記念講演会、懇親会は中止とした。

２）理事会

第１回　令和２年４月28日（書面決議）
・令和2年度収支決算について
・第47回定時総会について
第２回　令和２年７月３日（ウインクあいち）
・定例勉強会について
・各委員会の活動状況について
第３回　令和２年９月４日（書面決議）
・新型コロナウイルス対策アンケート
・WEBシステム導入について

３）委員会

ｉ）総務委員会
第１回　令和２年７月10日
・定例勉強会について

ii）広報委員会
第１回　令和２年７月14日
・「方位」について
iii）測量委員会
第１回　令和２年６月26日
・各活動詳細について
・測量競技会について
iv）建設コンサルタンツ委員会
第１回　令和２年７月９日
・ 各活動詳細について
第２回　令和２年８月７日
・各A・I事業について
v）危機管理委員会
第１回　令和２年８月６日（一部WEB会議）
・委員会スケジュールについて

2.主な事業活動状況

1）監事による会計監査

令和２年４月28日、令和元年度の会計及び業務について、藤本、長谷川両監事により書面にて監査が実施された。

2）要望活動の実施

①毎年、全会員が25班に分かれ県内の全発注機関に対し、『協会員の更なる活用と受注機会の拡大』の要望活動を今年度は、コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、６月に郵送にて同旨の要望活動を実施するとともに、委託業務に係わる前払金制度未導入の市町村に導入を要望した。併せて、テクノアイ18号を配布した。

②令和２年６月18日、正副会長及び総務委員長が、愛知県建設局長、土木部長、技監、建設企画課長、用地課長へ、久保田、杉浦、佐藤、飛田顧問の同席を得て、『協会員の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。

③令和２年７月29日、30日に会長と事務局長が県内全建設事務所長を訪問し、同旨の要望活動を実施した。

④令和２年９月７日、自由民主党愛知県支部連合会主催の「政策懇談会」に会長、青木副会長(政治連盟会長)が出席し、国に対しては「地方経済発展に寄与する施策の充実・強化に向けた公共事業への投資と地域・地元企業への優遇施策を進めて頂くよう」、県に対しても「地方経済発展に寄与する施策の充実・強化に向けた公共事業への投資と、官民境界の整備及び道路台帳の２次元化と一元管理に対する施策資源を重点的に投入して頂くよう」等を強く要望した。

3）災害緊急時協力体制のＰＲ活動の実施

全建設事務所を各地区の正副幹事会社が訪問し、愛知県知事との災害協力に関する協定に基づく当協会の体制のPR活動について、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により郵送による活動とした。

4）測量競技会の後援

令和２年７月14 日、県立稲沢高校で開催された愛知県学校農業クラブ連盟（県内農業高校測量科７校加盟）主催の測量競技会県大会を後援、協賛した。また、当協会より審査員10名を派遣し、６チームが参加した測量競技審判採点の競技大会をバックアップし、優秀校に対し当協会の会長表彰を行った。

5）地図教室（測量の日記念行事）の実施

国土地理院中部地方測量部と合同で、地図教室として小学校児童に中部地方測量部の出前授業講演及び協会会員による「測量体験学習」の開催を新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

6）災害等緊急時における連絡模擬訓練

①令和２年８月26日、名古屋市との災害協定に基づき、（一社）名古屋市測量設計業協会と合同で実施される名古屋市緑政土木局主催の情報連絡訓練に参加した。

②令和２年９月４日、愛知県との災害協定に基づき、災害等緊急時における連絡模擬訓練を実施した。

県内広域で大規模地震が発生したとの想定のもと、第１報で会員の安否確認の後、会長を本部長とする災害対策本部を設置し、第２報で情報伝達、出動可能な技術者数の把握などの訓練を実施した。

7）測量研修会等に講師を派遣

愛知県建設局等からの依頼に応じて、測量や用地実務等についての研修会に講師を派遣した。

○用地事務専門研修会
月　日　令和２年８月19日
場　所　愛知県自治研修所　ＯＡ教室
参加者　24名

総務委員会報告

委 員 長　久松　　顕
副委員長　森　　康彰

総務委員会は、主に会員皆様の資質向上と受注の増大を目的とした活動を担当しています。

１．愛知県建設局との定例勉強会

月　日　令和元年10月17日
場　所　ウィルあいち
出席者　愛知県建設局土木部建設企画課長
　　藤田 泰弘 様　始め　20名
　　協会　今村会長始め　17名

愛知県建設局本庁及び各建設事務所の代表をお迎えし、県行政の方針、測量設計業者への要望等をお聞きした。

また、協会側からは協会員の受注機会の拡大要望をはじめ、委託業務遂行上の疑問点や改善点などについて幅広く意見交換を行った。

２．コンプライアンス講習会（５団体共催）

月　日　令和元年11月11日
場　所　ホテル名古屋ガーデンパレス
参加者　31社52名（全体271名）

独占禁止法等の法令順守の徹底を促すため、（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部、（公社）全国上下水道コンサルタント協会中部支部、（一社）中部地質調査業協会、（一社）日本補償コンサルタント協会中部支部及び当協会の５協会共同により、独占禁止法順守に関する講習会を開催した。

３．全員研修会の開催

月　日　令和元年10月28日
場　所　ウィルあいち
参加者　39社52名

４．賀詞交歓会

月　日　令和２年１月17日
場　所　名鉄ニューグランドホテル

建設局長始め県建設局幹部の方々や顧問の先生方をお迎えして、会員170余名が参加し盛大に新年を祝い、交流を深めた。

５．営業研修会

令和２年２月21日に営業担当者を対象に長島温泉ホテル花水木・ガーデンホテルオリーブにて「会員受注及び決算状況」、「独占禁止法について」及び「減災・防災・災害復旧におけるシステム」をテーマに営業研修会を開催予定だったが新型コロナウイルス感染症の影響により延期とした。

６．若手経営部会

（一社）石川県測量設計業協会、（一社）兵庫県測量設計業協会、（一社）大分県測量設計コンサルタンツ協会及び当協会の４県合同次世代交流会を開催した。

月　日　令和元年８月７日
場　所　神戸市産業振興センター９階会議室
出席者　愛測協：山本部会長始め ７名、
　　石川測協：磯野次世代研修委員長始め12名、
　　兵庫測協：田村理事始め11名、
　　大分測協：馬原理事始め５名
　　計　35名

石川測協と２回に亘って行ってきた「次世代交流会」に、兵庫測協、大分測協を交えて開催し、「人材確保・人材育成」、「各測協の取り組み」を中心に意見交換や情報共有を行い、各測協ならではの視点や展望について意見交換会を行った。

おわりに

協会に対するご意見、ご希望等ございましたら、事務局までご連絡頂きたく存じます。皆様の暖かいご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

広報委員会報告

委 員 長　永草　新吾
副委員長　西出　剛大
副委員長　服部　真澄

広報委員会は、広く県民の皆様に測量設計業に対する認識を深めていただくための広報活動や、ホームページを通して業界の認知度向上、イメージアップを図ってまいります。会員向けには測量設計業に関するニュース、話題、協会の行事結果等を適時発信してまいります。

広報委員会での活動は、大きく三つ（要望活動・機関誌「方位」・ホームページ）あり、これらの実績についてご報告いたします。

1．要望活動

当協会のさらなる活用と受注機会の拡大を図るため、毎年５～６月に全会員が参加して国・県・市町村の各発注機関に対して要望活動を実施しております。

今年度も全会員を25班に編成し一斉に各発注機関を訪問し要望活動を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今回は郵送での配布といたしました。また、今年度は受注企業の経営安定と資金繰り改善のため、前払金制度の採用についての要望書も併せて郵送しております。

＜要望書抜粋＞

南海トラフ巨大地震等の発生が危惧されるとともに、大規模な風水害や土砂災害の発生が懸念されています。

このような状況の中、地域の安全・安心を守るという私ども測量設計業の使命を将来にわたって果たしていくため、地元企業が元気になり労働環境の改善や人材の育成に取組む事により、「夢のある産業」として、将来にわたってその担い手を継続的に確保するという好循環を形成しなければなりません。

協会員企業は、甚大な被害を及ぼす南海トラフ巨大地震を想定し、常日頃から測量設計の技術研鑽に努め、災害発生時における協会員企業間の情報共有、災害支援体制を整備できるよう努めております。

地域を熟知する地元企業の更なる活用・育成が緊急時における迅速な支援・活躍、ひいては安全・安心なまちづくりと地域の活性化に重要且つ不可欠であると考えます。

是非、事業量の経常的な増額と確保をお願いすると共に、地元企業を育成するためにも「地元で出来る事は地元で・・・の認識と強い意志」へご配慮を頂き、「協会員の更なる活用と受注機会の拡大」をよろしくお願い申し上げます。

2．機関誌「方位」

県民の皆様、官公庁の皆様、学生の皆様が知りたい、知っておきたい情報は何かと毎年熟慮し検討しておりますが、今号は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い委員会活動も自粛しており、特集記事は掲載中止とし、刊行時期についても例年の10月から12月となりました。

また、公益事業への取り組みで、国土地理院中部地方測量部との協働による「測量の日」の関連事業として県内小学校生徒を対象に関催されております「地図教室」も中止となりました。毎号、生徒たちが興味深く地図の勉強をしたり、楽しく測量体験している様子などを記事にしていただいていますが、中止となり残念に思います。「愛知県農業クラブ連盟平板測量競技会」は開催され、その様子を掲載しております。

協会トピックスでは、当協会会員企業で新たに社長に就任された新社長に就任の抱負、同社の取り組み等を紹介していただきました。また、前号に引き続き、学生や転職入職者向けに、会員企業の新入社員（入社３年目）及び若手・中堅技術者からの投稿を掲載しています。

3．協会ホームページ

当協会のホームページは昨年新規コンテンツ（若手社員の声、中堅技術者の声）を増設しました。今後も業界の情報発信の場として、また、広報活動の一環として運用してまいりますので活用ください。

「方位」及び「協会ホームページ」については関係各位からのご意見･ご要望等をしっかりとリサーチし、内容をさらに充実させ皆様のニーズに応えていけるよう努力してまいる所存ですので、何卒、ご支援・ご協力お願い申し上げます。

測量委員会報告

委 員 長　川﨑　敏昭
副委員長　吉本　三広
副委員長　柴田　修身

測量委員会は、測量技術の向上と改善のため関係機関と調整を図り、各種研修会への講師派遣や将来の測量技術者育成のための活動を行っております。

１．測量研修会

県及び市町職員の測量知識の研鑽と実務体験を目的に、講師の若返りも図りつつ県内３ヶ所の建設事務所と市に講師を派遣し研修会を実施しました。

研修風景

【カリキュラム】
「高性能化の進む測量」の講義
「ＴＳ測量」の講義及び実習

【開催概要】
令和元年10月24日　豊田市役所
（実習のみ；水準測量）
令和元年10月30日　新城設楽建設事務所
令和元年12月11日　東三河建設事務所
参加者計名　110名

２．用地研修会

県及び市町職員の用地測量知識の研鑽を目的に、建設事務所に講師を派遣し研修会を実施しました。

【カリキュラム】
「公共用地測量から物件補償に至る業務の流れ」の講義

【開催概要】
令和元年10月９日　尾張建設事務所
参加者計　51名

３．特殊車両通行許可申請審査業務研修会

県及び市町職員を対象に研修会が実施され、愛知県建設部道路維持課より依頼を受け協会より講師を派遣しました。

【カリキュラム】
殊車両通行許可制度の概要について
（中部地方整備局職員担当、県職員担当）
特殊車両通行許可申請審査事務について（協会担当）

【開催概要】
三河地区：令和元年５月13日 西三河総合庁舎
尾張地区：令和元年５月15日 愛知県自治研修所
参加者計　93名

４．愛知県学校農業クラブ連盟測量競技会支援

連盟からの要請により協会会員７社１０名のご協力を頂き、競技会の審査について令和２年度測量競技会を支援いたしました。

【開催日、場所】
令和２年７月14日　愛知県立稲沢高等学校競技会の結果など活動の詳細については、「公益事業への取組み」のページをご覧下さい。

５．小学校での地図教室

「測量の日」関連事業として、愛知県内３校の小学校を対象に、国土地理院中部地方測量部と合同で「地図教室と測量体験」を例年実施しているところです。

今年度については、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から「中止」となりました。

上記活動以外にも、測量無料相談への対応、愛知県研修会への講師派遣、地理空間情報産学官中部地区連携協議会への参加などの活動を行っています。

各活動の実施にあたっては、多数の会員企業の皆様にご協力をいただきました。紙面をお借りし感謝申し上げます。

建設コンサルタンツ委員会報告

委 員 長　尾藤　宜伸
副委員長　石堂　公彦
副委員長　國島　正彦

建設コンサルタンツ委員会では、愛知県(Aichi)で社会資本(Infra)整備に携わっている愛知県測量設計業協会会員の技術力向上及び地域貢献への支援を目的として、「３つのA・I活動」を展開している。

１．平成31年度(令和元年度)　活動報告

1.1　シビルエンジニアA・I

（コミュニケーション向上を目指す意見交換会）

受発注者が日常業務について意見交換し、円滑な業務の遂行を図ることを目指して開催した。

■日　時：令和元年９月25日(水)13:30～16:00
■場　所：愛知県知立建設事務所　会議室
■参加者：愛知県建設企画課１名、
　　知立建設事務所森部次長始め12名、
　　愛測協会員20名　計33名
■概要

受発注者間の更なる信頼関係構築を目指し、意見交換を行なった。主要なテーマを、①コミュニケーションについて、②業務遂行上の苦労（工夫）について、③働き方改革への取り組みについて、と設定し参加者を3グループに分けて活発に意見交換を行った。最後に各グループのコーディネーターによる報告の後、稲垣企画調整監から講評を頂き閉会した。

1.2　アソシエーションA・I

（品質向上を目指す現場研修会）

公共事業の円滑な進行と品質の向上を目指して、発注者である愛知県一宮建設事務所及び施工者である一宮土木研究会と合同で、会員が設計業務を担当した犬山市新郷瀬川河川改修工事について現場研修と意見交換を行った。

■日　時：令和２年１月21日（火）13:30～16:30
■場　所：現場見学及び犬山市体育館　２階多目的室
■参加者：一宮建設事務所６名、
　　土木研究会会員37名、
　　愛測協会員36名　計79名
■概　要

新郷瀬川の河川断面拡幅に伴う海道橋の架替え工事に係る右岸橋台工及び橋脚部仮設土留工及び伏越工等に対して、測量設計の段階と実際の施工時における相違点などについて、三者が率直な意見交換を行った。

事業を円滑に進めるうえで設計者に求められる“より良い設計”を行うために有意義な研修となった。

1.3　産官学A・I

最近は豪雨災害が多発しており、その災害対応～備えまでを行うことが重要と考え、３年程度かけて勉強する。本活動は危機管理委員会と連携して行う。

初年度は豪雨災害のメカニズムについて名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻 戸田祐嗣教授による講演会を開催した。

■日　時：令和元年10月28日(月)15:00～17:00
■場　所：ウィルあいち
■内　容：『豪雨災害のメカニズム～事例に学び、将来に備える～』
■参加者：建設企画課、各建設事務所、愛測協会員

２．令和２年度の活動予定

2.1　シビルエンジニアA・I意見交換会

豊田加茂建設事務所で①働き方改革の取り組みについて、②品質確保についての意見交換会を３蜜回避、規模縮小、ＷＥＢ会議方式の採用などを含めで開催の方向で、協議を進めてきましたが、新型コロナ感染症の先行きが不透明なため、来年度に延期となった。

2.2　アソシエーションA・I現場研修会

海部建設事務所及び津島土木研究会と調整し、開催予定であったが、新型コロナ感染症の影響により、今年度の開催を見合わせ来年度に改めて検討することとなった。

2.3　産官学A・I（危機管理委員会と共催）

名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻戸田祐嗣教授の協力を受け、愛知県内の水害を内水氾濫、外水氾濫、土砂災害、高潮・津波などの地域別、カテゴリー別に把握を行い、会員への情報発信を検討しています。

危機管理委員会報告

委 員 長　小中　達雄
副委員長　早川　正喜
副委員長　山本　成竜

1. はじめに

平成28年度に新設された「危機管理委員会」は、今年度３期目を迎え、協会並びに会員の危機管理体制を強化する活動をしています。委員会のテーマを“危機管理体制の整備とBCMの確立～体制と連携の強化～”とし、委員会をタイムライン部会（主に対外関連）とBCP部会（主に協会内関連）に分けて活動を進めています。今年に入り新型コロナウイルス感染症により委員会活動への影響もありましたが、各部会の活動実績を報告いたします。

2. 主な活動内容

2.1　タイムライン部会

平成30年度において、大規模災害への対応力の強化・向上を目的した災害復旧等関連業務の実務経験者による座談会を開催しました。その座談会での成果をまとめ、今回の研修会資料として活用しました。参加者は100名を超える盛況ぶりで、災害対応に関する意識の向上が見受けられる研修会となりました。

（1）災害復旧等関連業務研修会

日時場所　令和元年８月27日（火）
　　名古屋都市センター
参加者　愛測協／副会長、危機管理委員会
　　会員企業各社
形　式　講義形式
テーマ　「協会BCPについて」、「災害復旧等関連業務の全体の流れ、留意点について」、「災害復旧等関連業務の事例紹介について」

2.2　BCP 部会

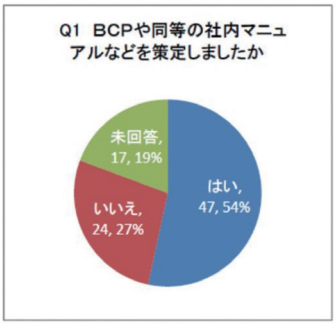
(1)アンケート調査

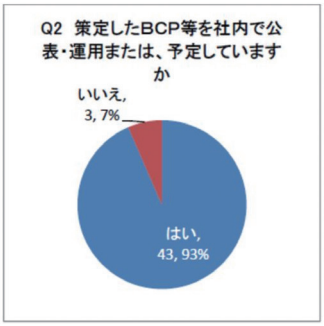
令和元年４月にBCP及び災害査定業務に関するアンケートを実施しました。

①BCP等に関するアンケート

対象会員数：88社　回収数：71社（81%）

BCPや同等マニュアルの策定状況、社内での公表・運用状況、安否確認の方法、備蓄品、データ管理などについてのアンケートを実施しました。

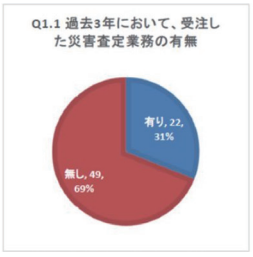


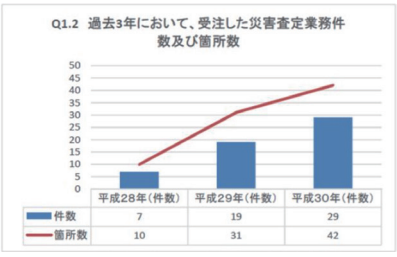


②災害査定に関する実態調査

対象会員数：88社　回収数：72社（82%）

過去３年（H28_30）における災害査定業務の受注状況、業務内容、体制等についてアンケートを実施しました。





※詳細は会員専用ページ（ログイン）を参照または協会事務局まで

（2）災害連絡訓練

令和元年９月５日（木）愛測協事務局において、愛知県建設企画課、９建設事務所、２港務所の担当部署及び会員の皆様にご協力いただき、災害緊急時連絡訓練を行いました。オンラインシステムを活用し、滞りなく連絡訓練を実施することができました。

以上

会員紹介（ナハマヤラワ行）

ニチイコンサルタント株式会社

1.はじめに

当社は、昭和53年一宮市で測量業務を中心に行う会社として創業しました。平成10年にそれまでの実績を活かし、公共測量を受注。以降は業種を拡大し業務を行ってきました。現在では営業エリアを愛知、岐阜、三重、静岡と幅広く地域に根付いた測量・建設コンサルタントとして社会貢献を行っています。

2.会社概要

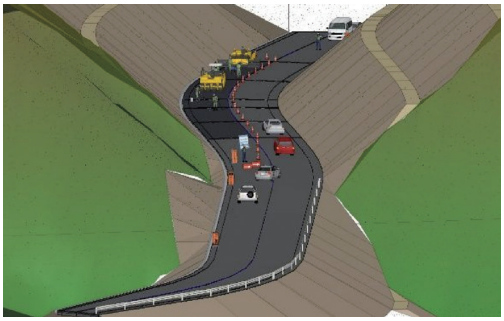
所在地: 〒491-0837
一宮市多加木二丁目９番３号
TEL：0586-71-8781 FAX：0586-71-8786
URL：http:www.nichii.co.jp
創業: 昭和53年８月
代表者: 代表取締役　早川　友幸

3.会社方針

『確かな技術で未来を創る』を経営理念とし、３つの「C」を行動指針に掲げ行動しています。

4.業務内容

業務内容は測量、３次元技術、建設・補償コンサルタント、施工管理部門を主に行っております。最近は、工事監督支援業務も行っており、公共測量では、令和２年６月５日付けで『公共測量品質管理優秀賞（基準点）』を受賞しました。



CIM データ

5.i-Constructionへの取り組み

当社は、レーザースキャナー、UAVレーザースキャナー等を導入し、現在では年間30件超のi-Construction基準に対応した業務実績があり、現場状況に合わせた確実な作業を実施、高精度な成果を提供しています。更に、施工現場の３次元設計にも取り組み、ICT建機との連携も可能になりました。現場を面管理することで、切り盛りの土量計算や断面の取得など、お客様の要望に合わせたデータの提供をスムーズに行っています。今後も従来の測量技術とノウハウに加え、新たな３次元計測技術を探りながら挑戦を続けて、お客様の業務効率化をサポートして行きます。

6.おわりに

当社は社会資本整備の一端を担うコンサル会社として、正確な技術を基に、お客様の信頼を得るとともに、地域社会の安全・安心・発展に貢献します。

早川都市計画株式会社

Hayakawa

1.会社概要

所在地：豊田市美里２丁目17番地の５
ＴＥＬ：0565-89-8068
ＵＲＬ：https://www.hayakawa-t.co.jp/
e-mail ：toyota@hayakawa-t.co.jp
創　立：昭和46年10月１日
代表者：代表取締役　早川　正喜
支　店：名古屋/刈谷/尾張旭
従業員：32名

平成30年度打ち上げ会

2.事業内容

当社の主な事業内容は、以下のとおりです。

◆まちづくり事業［都市計画/市街地整備］
◆建設ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ［道路/河川/公園/宅造］
◆補償ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ［土地調査/物件/営業/機械］
◆測量調査［公共測量/用地測量］
◆3D事業［3D計測/3D設計/3DCG・VR］

当社保有機材

3D 設計 /3DCG の事例

3.会社方針

当社は昭和46年創立し、令和３年には50周年を迎えます。これまで市街地整備事業、土木設計、補償調査、公共測量などを通して、社会資本整備に貢献してまいりました。

現在わが国は、人口減少や少子高齢化による地方都市の衰退、頻発する風水害や南海トラフ巨大地震への備えなど様々な課題に直面しています。また、新感染症により生活様式が変わり、テレワークによる働き方や雇用のあり方も大きく変わろうとしています。私たちは、地域が抱える社会的課題を解決するために、質の高い価値のあるサービスを提供、国土強靭化や地域活性化を支援します。「持続可能なまちづくり」を構築し、真に豊かな社会の実現に向けて全力を尽くします。

今後も、地域のニーズに応えられるように、技術力の向上、人材の育成、先端技術の活用を進め、ピンチをチャンスに変える発想をもって、地域社会に貢献していきます。

フジコンサルタント株式会社

1.会社概要

所在地：〒497-0044
海部郡蟹江町大字蟹江新田字前波226番地
ＴＥＬ：0567-96-1063 ＦＡＸ：0567-96-1647
ＵＲＬ：http://www.fujicon-c.co.jp/
設　立：昭和49年３月５日
事業所：名古屋事業所、北勢事業所
登　録：測量業、補償コンサルタント業、
　　建設コンサルタント業、
　　計量証明事業
代表者：代表取締役　加藤　健司

2.事業内容

当社は地域に密着した営業展開で、測量・土木設計、物件・事業損失、騒音・振動測定の補償調査、また地盤改良に必要な土質試験・調査を行っております。

3.会社方針

一．誠実と実行
一．融和と協力一致
一．責任と努力

社訓の内容が当社の組織風土のベースとなっており、社員一人ひとりが“誠実な対応、迅速な行動きめの細やかなサービス“をモットーに皆様の信頼を築き、優れた品質と価値を持ち、サービスの提供する努力を続けてまいります。

4.会社の取り組み

当社では個々のスキルアップとして、講習会の参加・資格試験の受験費用の負担など資格取得に向けてのバックアップ体制を整備しております。また各種資格手当を一つ一つ設定し、個々の目標が立てやすくなっております。

働き方改革においては、一週間連続休暇制度を導入しており、連続休暇の取得を義務付けております。また家族へ日頃の感謝を込めて、年一回家族全員無料でテーマパークに行ける家族慰安制度も設けております。加藤建設グループの催しとしても、技術アイデアコンテスト、農業体験研修、ソフトボール大会など様々な行事があり、縦の繋がり横の繋がりだけでなく、会社の垣根を越えたコミュニケーションを図っております。

5.おわりに

今後も高い地域精通度を生かし、地域の実情に合ったサービスを提供できるよう、日々技術の研鑽に努め、よりよい社会整備の一翼を担うことで地域社会に貢献し続けます。

人と自然を創造する総合建設コンサルタント

株式会社 名邦テクノ

1.会社概要

所在地（本社）
〒457-0048
名古屋市南区大磯通６丁目９番地２
TEL052-823-7111㈹　FAX052-823-7110
創業　昭和46年４月
代表取締役　山﨑　武男
登録：建設コンサルタント業、測量業、
補償コンサルタント業、
１級建築士事務所、
土壌汚染指定調査機関、
不動産鑑定業者、
宅地建物取引業

昭和46年の創業当初は、土地改良事業の換地・確定測量業務から始まり、それからの20年間は、ほ場整備、かんがい排水、農道、ため池などの農業土木の測量設計を主に業務展開をしてまいりました。

そのころお客さまには「土地改良の名邦テクノ」として認知していただきました。

現在では、一般土木初めドローンを活用したICT事業やストック点検調査等の品目も増え、多様な事業展開ができるまでの規模に成長することができました。さらなる発展を目指し、弊社が地域や社会で必要とされるよう励んでおります。

2.地域貢献

地域防災協力事務所　AED設置事務所
通学路こども110番の家　エコ事業所

弊社おいては、地域防災の協力事務所として災害時に利用可能な機材の貸出、物資の提供等を大磯学区防災安心まちづくり委員会と協定を結んでおり、地域の社会貢献に積極的に取り組んでいます。

3.事業紹介

「佐布里池」水抜きに係るICT業務

愛知県の産業を支え、知多半島の水資源である「佐布里池」耐震補強工事に伴う掻い堀をTV番組「緊急SOS！池の水全部抜く大作戦」で取り上げられ話題になりました。

図１　TV 番組での魚類捕獲状況 CIM データ

この「佐布里池」の水抜き後の地形状況や堤体護岸状況を弊社がドローン撮影により調査を実施しました。

図２　佐布里池全体

撮影により、特定された崩落ヵ所を点群データ処理により3D化を実施し設計に反映しました。

図３　佐布里池の崩落護岸

ため池等、広範囲に渡る状況調査ではドローンが有効であり、弊社では測量の省力化やICT技術の研鑽に努め、様々な業務へ日々挑戦を続けています。

紹介

顧問紹介（敬称略）

顧問団長

久保田　浩　文・(くぼた　ひろふみ)

愛知県議会議員（稲沢市選出、当選７回）平成23年５月 顧問就任

■略歴　昭和28年生

昭和50年３月	日本大学経済学部卒業
平成７年４月	愛知県議会議員当選
平成13年５月	愛知県議会 企画環境委員会委員長
平成19年５月	愛知県議会 議会運営委員会委員長
平成20年５月	愛知県 監査委員
平成21年10月	自由民主党 愛知県支部連合会組織委員長
平成22年５月	自由民主党 愛知県支部連合会副会長
平成25年５月	愛知県議会 議長
平成26年６月	自由民主党 愛知県支部連合会幹事長
平成27年５月	愛知県議会 中京大都市圏形成調査委員会委員長
平成29年５月	愛知県議会 安全・安心対策特別委員会委員長
令和２年５月	愛知県議会 人づくり・福祉対策特別委員会委員長

顧　問

杉　浦　孝　成・(すぎうら　たかしげ)

愛知県議会議員（高浜市選出、当選５回）平成27年５月 顧問就任

■略歴　昭和23年生

昭和41年３月	県立刈谷商業家庭高等学校卒業
平成15年４月	愛知県議会議員当選
平成19年５月	愛知県議会 警察委員会委員長
平成20年５月	愛知県議会 少子高齢化・人づくり対策特別委員会副委員長
平成21年５月	愛知県議会 地域振興環境委員会副委員長
平成23年５月	愛知県議会 地域振興環境委員会委員長
平成27年５月	愛知県議会 副議長
平成29年５月	愛知県議会 議会運営委員会委員長
令和元年５月	自由民主党愛知県議員団長

顧　問

佐　藤　一　志・（さとう　かずし）

愛知県議会議員（知多市選出、当選３回）平成27年５月 顧問就任

■略歴　昭和28年生

昭和45年３月	流通経済大学卒業
平成23年４月	愛知県議会議員当選
平成27年５月	愛知県議会 健康福祉委員会委員長
平成30年５月	愛知県議会 総務県民委員会副委員長
令和２年５月	自由民主党愛知県議員団総務会長

顧　問

飛　田　常　年・（ひだ　つねとし）

愛知県議会議員（蒲郡市選出、当選３回）令和元年５月 顧問就任

■略歴　昭和32年生

昭和56年３月	愛知大学法経学部経済学科第Ⅱ部 卒業
平成23年４月	愛知県議会議員当選
平成27年５月	愛知県議会 振興環境委員会 委員長
平成29年５月	自由民主党愛知県議員団総務会長

役　員　名　簿

（一社）愛知県測量設計業協会

顧問団長	久保田　浩　文	愛知県議会議員
顧　　問	杉　浦　孝　成	愛知県議会議員
〃	佐　藤　一　志	愛知県議会議員
〃	飛　田　常　年	愛知県議会議員
会　　長	今　村　鐘　年	中部復建㈱
副 会 長	青　木　拓　生	㈱拓工
〃	梶　川　　洋	㈱梶川土木コンサルタント
理　　事	久　松　　顕	久松測量設計㈱
〃	永　草　新　吾	㈱中部テック
〃	川　﨑　敏　昭	㈱カナエジオマチックス
〃	尾　藤　宜　伸	中日本建設コンサルタント㈱
〃	小　中　達　雄	玉野総合コンサルタント㈱
〃	森　　康　彰	㈱アイエスシイ
〃	西　出　剛　大	㈱大増コンサルタンツ
〃	服　部　真　澄	㈱名邦テクノ
〃	吉　本　三　広	㈱石田技術コンサルタンツ
〃	柴　田　修　身	㈱あづま
〃	石　堂　公　彦	㈱新日
〃	國　島　正　彦	協和調査設計㈱
〃	早　川　正　喜	早川都市計画㈱
〃	山　本　成　竜	㈱愛河調査設計
監　　事	藤　本　博　史	中央コンサルタンツ㈱
〃	長谷川　英　輝	公認会計士･税理士 (北斗中央税理士法人)
事務局長	安　藤　賢　一	（一社）愛知県測量設計業協会

[委員会]

総　務　委　員　会

① 法人の管理運営
② 入退会及び表彰
③ 独禁法の遵守及び相談
④ 測量設計業務の実態調査及び解析
⑤ 会員の資質向上に関する研修会の開催
⑥ その他、他の委員会に属さない事項

委員長	久　松　　顕	委　員	伊　藤　俊　行
副委員長	森　　康　彰	〃	坂　野　晃　嗣
委　員	酒　井　　誠	〃	岩　木　利　志
〃	永　田　行　活	〃	宇　佐　美　明
〃	浜　田　哲　也	担当副会長	梶　川　　洋
〃	髙　木　喜　一		
〃	川　口　英　朗		

広　報　委　員　会

① 発注機関への要望活動
② 機関紙「方位」の発刊
③ 協会・測量設計業の啓蒙啓発
④ その他広報に関する事項

委員長	永　草　新　吾	委　員	川　澄　　功
副委員長	西　出　剛　大	〃	加　藤　健　司
〃	服　部　真　澄	担当副会長	梶　川　　洋
委　員	香　村　信　男		
〃	安　藤　健　一　郎		
〃	須　藤　一　彦		
〃	山　本　章　好		

測　量　委　員　会

① 測量技術（地理空間情報等）の研鑽
② 研修会及び講師派遣（国・県・市町村等）
③ 測量設計無料相談（一般県民等）
④ 「測量の日」（国土地理院）記念事業の実施
⑤ その他測量（用地業務含む）に関する事項

委員長	川　﨑　敏　昭	委　員	鈴　木　善　晴
副委員長	吉　本　三　広	〃	河　村　利　由　紀
〃	柴　田　修　身	〃	浅　野　　強
委　員	林　　浩　司	〃	太　田　和　哉
〃	中　村　竜　平	〃	早　川　友　幸
〃	中　谷　正　和	〃	大　西　俊　次
〃	鈴　木　　守	担当副会長	青　木　拓　生

建設コンサルタンツ委員会

① 建設コンサルタント業務の技術の向上・改善
② 事業領域の拡大・研究
③ 会員の技術向上に関する研修会
④ その他建設コンサルタンツに関する事項

委員長	尾　藤　宜　伸	委　員	廣　田　保　雄
副委員長	石　堂　公　彦	〃	山　田　雅　登
〃	國　島　正　彦	〃	池　田　健　一
委　員	伊　藤　寿　浩	担当副会長	青　木　拓　生
〃	山　田　秀　穂		
〃	奥　村　和　夫		

危機管理委員会

① 災害等緊急時体制の整備・充実
② 災害等緊急時における技術支援
③ 協会・会員のBCP作成・支援

委員長	小　中　達　雄	委　員	濱　田　常　雄
副委員長	早　川　正　喜	〃	榊　原　雅　彦
〃	山　本　成　竜	〃	前　田　勝　美
委　員	岸　本　悦　典	〃	種　村　拓　麻
〃	河　　正　根	担当副会長	青　木　拓　生
〃	小　杉　哲　也	〃	梶　川　　洋
〃	酒　井　泰　明		

会員名簿一覧

正会員

会　社　名	代表者名	郵便番号	住　　所	E-mail	TEL
㈱アイエスシイ	森　　富雄	466-0059	名古屋市昭和区福江2-9-33　nabi/白金2階	general@isc-ngo.co.jp	052-882-1201
㈱愛河調査設計	山本　成竜	457-0074	名古屋市南区本地通6-8-1	asso@aiga-cc.co.jp	052-819-6508
愛徳コンサルタント㈱	田中　康則	470-0342	豊田市大清水町大清水38-10	aitoku-c@woody.ocn.ne.jp	0565-45-5557
㈱愛龍設計事務所	小栗　金夫	470-0373	豊田市四郷町森前2-2	airyu@hm6.aitai.ne.jp	0565-45-2935
㈱葵エンジニアリング	角田　安史	453-0018	名古屋市中村区佐古前町22-6	iso@aoi-eng.co.jp	052-486-2200
あおい建設コンサルタント㈱	濵崎　将志	461-0005	名古屋市東区東桜2-3-7	aoi@japan-net.ne.jp	052-933-2091
葵コンサルタント㈱	中川　恵子	444-2118	岡崎市河原町13-2	soumu@aoi-con.co.jp	0564-22-7058
㈱葵設計事務所	中西　慎仁	440-0085	豊橋市下地町2-51	soumu@aoi-sekkei.jp	0532-55-5263
㈱アクセス	赤松　光昭	448-0013	刈谷市恩田町1-159-1	access_survey@katch.ne.jp	0566-23-8667
㈱朝日設計事務所	朝日　　烈	465-0024	名古屋市名東区本郷3-118	soumu@asahisekkeijimusho.co.jp	052-774-7181
㈲旭測量事務所	金子　郁男	440-0851	豊橋市前田南町1-4-12	surveyor@cello.ocn.ne.jp	0532-54-5934
㈱旭調査	村瀬　伸吾	468-0052	名古屋市天白区井口1-2017	asahi@asahi-c.co.jp	052-838-7721
㈱あづま	柴田　修身	440-0026	豊橋市多米西町1-20-9	aduma@631255.jp	0532-63-1255
アマノコンサルタント㈱	天野　隆俊	444-2131	岡崎市青木町22-5	info@amano-c.com	0564-45-2445
アローコンサルタント㈱	伊藤　寿浩	456-0018	名古屋市熱田区新尾頭2-2-32　勢州館金山ﾋﾞﾙ内	soumu@arrow-c.co.jp	052-684-5684
㈱石田技術コンサルタンツ	堀　与志男	485-0028	小牧市東新町50	itcsom@itcnet.co.jp	0568-73-1085
井上測量設計㈱	佐々木康次	460-0001	名古屋市中区三の丸1-10-1　TLCMﾋﾞﾙ3階	inoue-s@uranus.dti.ne.jp	052-212-5193
㈱宇井測量設計	宇井　源悟	470-1219	豊田市畝部西町西裏19番地1	uiss@lilac.ocn.ne.jp	0565-85-0830
ＮＴＣコンサルタンツ㈱	大村　　仁	460-0003	名古屋市中区錦2-4-15　ORE錦二丁目ﾋﾞﾙ4階	eigyou.hn@ntc-c.co.jp	052-229-1701
㈱ＭＳＳ	酒井　　誠	454-0054	名古屋市中川区八剱町3-24	jimusyo@kkmss.co.jp	052-602-7715
㈱オオバ名古屋支店	市川　克己	460-0003	名古屋市中区錦1-19-24　名古屋第一ﾋﾞﾙ7階	info_na@k-ohba.co.jp	052-219-0083
㈲大場測量設計事務所	大場　孝男	444-0835	岡崎市城南町3-4-3	ohba@mikaworld.com	0564-52-8505
㈱大増コンサルタンツ	西出　剛大	454-0828	名古屋市中川区小本2-14-5	soumu@ohmasu.co.jp	052-363-1131
㈱大屋測量設計	大屋　恵雄	451-0077	名古屋市西区笹塚町2-70　鳥見ﾊﾟｰｸﾏﾝｼｮﾝ306号	ohyasv@sepia.ocn.ne.jp	052-908-0672
㈱梶川土木コンサルタント	梶川　　洋	448-0037	刈谷市高倉町4-508	info@k-cc.co.jp	0566-24-6606
㈱カナエジオマチックス	川崎　敏昭	460-0012	名古屋市中区千代田1-12-5	kanal@kanal.co.jp	052-249-9611
㈱神田設計	吉川　明宏	451-0062	名古屋市西区花の木1-3-5	info@kanda-s.co.jp	052-522-3121
㈱協同コンサルタント	近藤　　優	458-0801	名古屋市緑区鳴海町字中汐田84-1	info-mail@kyodoconsul.com	052-624-3311
協和調査設計㈱	江刺家　智	454-0839	名古屋市中川区篠原橋通2-44	soumu@ky-cs.co.jp	052-365-3711
㈱小嶋コンサルタント	町田　穂積	445-0804	西尾市緑町2-36	kojima-j@kojima-ss.com	0563-53-5331
コムワークスエンジニアリング㈱	今枝　　晃	466-0058	名古屋市昭和区白金3-19-15	sales@com-worx.co.jp	052-884-8411
㈱酒井設計事務所	酒井　泰明	471-0827	豊田市平山町5-1	sakai@hm6.aitai.ne.jp	0565-27-1762
栄土地測量設計㈱	青山　貴洋	440-0806	豊橋市八町通4-49	info@sakaetochi.co.jp	0532-55-1230
㈱三愛設計	永田　行活	492-8144	稲沢市小池1-5-8	office@sanai-sekkei.co.jp	0587-32-8313
㈱サンキ	安藤健一郎	456-0032	名古屋市熱田区三本松町6-5	andou-k@3ki.co.jp	052-884-2555
三協調査設計㈱	浜田　哲也	460-0015	名古屋市中区大井町4-17	sohmu@sankyocon.co.jp	052-331-5371
敷島測量設計㈱	中島　正義	462-0014	名古屋市北区楠味鋺3-302	BCH10311@nifty.com	052-901-5005
設楽測量設計㈱	加藤　博俊	441-2302	北設楽郡設楽町清崎字岩井25-2	sitasoku@guitar.ocn.ne.jp	0536-62-1456
柴山コンサルタント㈱	加藤　銑彦	461-0011	名古屋市東区白壁1-69	eigyo@shibayama-consul.co.jp	052-961-0111
信栄測量設計㈱	髙木　喜一	471-0024	豊田市元城町4-28	scc@ruby.ocn.ne.jp	0565-31-1113
新栄測量設計㈱	赤石　和彦	485-0044	小牧市常普請3-124	akakiko@r3.dion.ne.jp	0568-76-1755
新晃コンサルタント㈱	鈴木　善晴	462-0853	名古屋市北区志賀本通2-46	info@shinko-c.com	052-911-1286
㈱新日	秋山　　学	454-0011	名古屋市中川区山王1-8-28	business@shinnichi.co.jp	052-331-5356
㈱伸和	林　　清一	457-0863	名古屋市南区豊1-45-12	hayashi@kk-shinwa.com	052-692-0146
杉浦測量㈲	髙木　　清	444-0802	岡崎市美合町字西屋敷24-1	sugiuras@smile.ocn.ne.jp	0564-51-0037
㈱須藤事務所	須藤　一彦	471-0842	豊田市土橋町4-67	bond@sudou.net	0565-29-0281
㈱成和コンサルタント	浅野　　強	441-1375	新城市字的場15-2	seiwa1@jeans.ocn.ne.jp	0536-23-6418
太栄コンサルタンツ㈱	川口　英朗	460-0012	名古屋市中区千代田3-26-18	soumu@daiei-con.co.jp	052-332-3355
㈱大建コンサルタント	廣瀬　稔也	460-0011	名古屋市中区大須4-11-17	gyoumu@daikenc.jp	052-252-5171
㈱大地コンサルタント	山本　章好	440-0026	豊橋市多米西町1-5-5	ddm@daichi-c.jp	0532-21-6649

紹　介

会　社　名	代表者名	郵便番号	住　　所	E-mail	TEL
㈱拓工	青木　拓生	456-0004	名古屋市熱田区桜田町15-22	kanri-ask@c-takko.co.jp	052-883-2711
玉野総合コンサルタント㈱	牧村　直樹	461-0005	名古屋市東区東桜2-17-14	ts-society@tamano.co.jp	052-979-9111
中央コンサルタンツ㈱	藤本　博史	451-0042	名古屋市西区那古野2-11-23	honsha-info@chuoh-c.co.jp	052-551-2541
㈱中建	岩木　利志	464-0823	名古屋市千種区松竹町1-40	chuken@k7.dion.ne.jp	052-762-1341
中部地域整備㈱	青山　茂喜	460-0002	名古屋市中区丸の内2-2-15	CRD@chance.ne.jp	052-201-2831
㈱中部テクノス	正岡　佳典	465-0024	名古屋市名東区本郷2-141	eb.ngy@c-aas.co.jp	052-768-4410
㈱中部テック	永草　新吾	465-0092	名古屋市名東区社台3-48	info@chubu-tech.co.jp	052-771-1251
中部土地調査㈱	上野　英和	451-0042	名古屋市西区那古野2-26-8	c-tochi@chubutochicyousa.co.jp	052-565-1881
中部復建㈱	今村　鐘年	466-0059	名古屋市昭和区福江1-1805	eigyou@chubu-fk.co.jp	052-882-6611
司開発㈱	加藤　一弘	448-0028	刈谷市桜町1-10	info@tsukasa-kaihatsu.com	0566-23-1056
㈱つかもと	塚本　兼之	486-0927	春日井市柏井町2-59	soumu@tukamoto.co.jp	0568-31-7268
東亜測量設計㈱	亀井　幸隆	468-0064	名古屋市天白区道明町195	toua@toua-kk.com	052-832-7322
東栄測量設計㈱	松本　幸三	454-0961	名古屋市中川区戸田明正2-2210	t-soumu@touei.ecnet.jp	052-618-8760
㈱東海コンサルタンツ	中沢　真三	440-0862	豊橋市向山大池町17-11	main@tokai-con.jp	0532-53-3400
東洋測量設計㈱	松井　宗廣	462-0011	名古屋市北区五反田町81	somu@tc-toyo.co.jp	052-902-1811
中日本建設コンサルタント㈱	上田　直和	460-0003	名古屋市中区錦1-8-6　ONEST名古屋錦スクエア	webmaster@nakanihon.co.jp	052-232-6031
㈲西尾測量	西尾　榮司	471-0842	豊田市土橋町5-9-3	nishio-s@hm3.aitai.ne.jp	0565-29-7124
ニチイコンサルタント㈱	早川　友幸	491-0837	一宮市多加木2-9-3	NICHII@nichii.co.jp	0586-71-8781
㈲額田測量	高橋　　有	444-2223	豊田市松平志賀町ﾏｺﾞｲﾁ10-14	nukataso@hm9.aitai.ne.jp	0565-86-1321
早川都市計画㈱	早川　正喜	471-0805	豊田市美里2-17-5	soumu@hayakawa-t.co.jp	0565-89-8068
㈱東愛知コンサルタント	宇佐美　明	441-8053	豊橋市柱二番町2-1	h_aichi@blue.ocn.ne.jp	0532-48-5665
久松測量設計㈱	久松　　顕	492-8143	稲沢市駅前4-7-11	info@hisasoku.com	0587-21-4077
富士エンジニアリング㈱	寺本　博亘	464-0067	名古屋市千種区池下1-11-21　ｻﾝｺｰﾄ池下5階	a.takeuti@fuji-eng.co.jp	052-763-1616
不地弘測量設計㈱	太田　昭彦	470-0374	豊田市伊保町上北野49-2	fujikoh-ota@nifty.com	0565-45-8336
藤コンサル㈱	藤本　桂介	450-0002	名古屋市中村区名駅3-22-8　大東海ビル	eigyo@fuji-con.co.jp	052-433-1261
フジコンサルタント㈱	加藤　健司	497-0044	海部郡蟹江町大字蟹江新田字前波226	info@fujicon-c.co.jp	0567-96-1063
㈱丸太測量設計事務所	梅村　正明	471-0024	豊田市元城町2-8-2	marutas@estate.ocn.ne.jp	0565-32-5121
㈱メイトーテック	上山　義之	455-0003	名古屋市港区辰巳町1-44	k.yoshiyuki@meito-tech.co.jp	052-654-0363
㈱名邦テクノ	山崎　武男	457-0048	名古屋市南区大磯通6-9-2	soumu@meiho-techno.co.jp	052-823-7111
㈱名北総合技研	山田　雅登	462-0801	名古屋市北区新堀町49	eigyo@meihoku-sg.co.jp	052-981-4916
㈱横測	宮川　栄一	477-0037	東海市高横須賀町西岨14	info@aichi-yokosoku.co.jp	0562-33-1294
リード測量設計㈱	音部祥一郎	444-0113	額田郡幸田町大字菱池字東部81	lead@viola.ocn.ne.jp	0564-62-6367
若鈴コンサルタンツ㈱	吉田　伸宏	452-0822	名古屋市西区中小田井5-450	soumu@wakasuzuc.co.jp	052-501-1361

準会員

会　社　名	代表者名	郵便番号	住　　所	E-mail	TEL
㈱フジヤマ名古屋支店	田畑喜久夫	460-0002	名古屋市中区丸の内2-16-3	nagoya@con-fujiyama.com	052-218-4300
㈱ランド・コンサルタント中部支社	洞ノ口一伸	467-0862	名古屋市瑞穂区堀田通8-18　ｳｲｽﾃﾘｱ堀田201号室	chubu-b.o@land-c.co.jp	052-693-6218

賛助会員

会　社　名	代表者名	郵便番号	住　　所	E-mail	TEL
中京コピー㈱	嶋津　誠司	461-0001	名古屋市東区泉3-30-3	c-net@chukyocopy.co.jp	052-931-2611
㈱東海八嶋	嶋津　誠司	456-0004	名古屋市熱田区桜田町16-3	tohachi@chukyocopy.co.jp	052-931-7135
西尾レントオール㈱中部支店	濱田　雅義	460-0003	名古屋市中区錦1-6-17　ｵﾘｼﾞﾝ錦ﾋﾞﾙ9階	masayoshi.hamada@nishio-rent.co.jp	052-203-8240
㈱日刊建設工業新聞社名古屋支社	横川　貢雄	461-0001	名古屋市東区泉1-22-22　TODAﾋﾞﾙ	nagoya@decn.co.jp	052-961-2631

Trimble

Break Through.

Simple

Smart

Professional

New Trimble 3D Scanning System

Trimble X7

常識を打ち破る3Dスキャニングシステムが誕生。
未来を"はかる"。 時代を"かえる"。

It's time to Break Through.

お問い合わせ先

トリンブルパートナーズ中部 株式会社

Trimble AUTHORIZED DISTRIBUTOR

本社　〒486-0817　春日井市東野町1丁目7番地12
TEL：0568-85-1824　FAX：0568-85-1834
URL：http://www.trimble-chubu.com/
MAIL：web@trimble-chubu.com

豊橋営業所　〒441-8068　豊橋市神ノ輪町45番地2
TEL：0532-35-9100　FAX：0532-35-9102

三重営業所　〒541-0824　三重県津市垂水495
TEL：059-222-7180　FAX：059-222-7181

株式会社ニコン・トリンブル

www.nikon-trimble.co.jp

掲載の会社名、ロゴ、製品名、その他の固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

FUKUI COMPUTER

福井コンピュータは“i-Construction”に
対応したソフトウェアをご提供することで
建設業界を全面的に支援していきます。

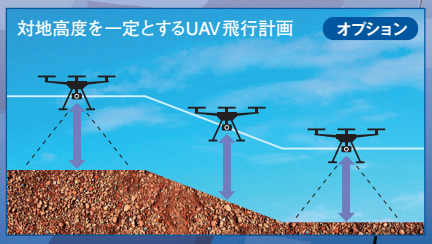
未来のフィールドを拓く、全ての測量・設計業者へ。

New!

地震や豪雨災害など数多くの情報の地図タイルも活用可能！

New!

地表面の形状を考慮した、高度なフライトシミュレーション！



革新の64bitアプリケーション！

新元号対応

TREND-ONE

測量CADシステム【トレンドワン】

点群の活用、現場端末システムとの連携で、測量業務の効率化を支援！

3D点群処理システム

TREND-POINT
3D点群処理システム【トレンドポイント】

現場端末システム

TREND-FIELD
現場端末システム【トレンドフィールド】

福井コンピュータ株式会社　本社／〒910-0297 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・埼玉・千葉・東京・横浜・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・山口・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

●製品の詳しい情報・カタログ請求は
福井コンピュータ　検索
https://const.fukuicompu.co.jp

●お電話でのお問い合わせ・ご相談は
福井コンピュータグループ総合案内
ナビダイヤル 0570-039-291

一般社団法人全国測量設計業協会連合会中部地区協議会

～「グループ保険制度」のご案内～

一緒に働く仲間だからこそ、大切にしていきたい…そんな企業さまの想いに応えた保険です！

制度内容（企業負担型・個人負担型共通）

本人						
申込口数（口）	一般の死亡・高度障害【死亡・高度障害保険金】（万円）	不慮の事故による上乗せ給付		不慮の事故によるその他の給付		月払保険料（円）
		不慮の事故による死亡 特定感染症による死亡 ※1（万円）	不慮の事故による高度障害 ※2（万円）	不慮の事故による身体障害（程度により） ※3（万円）	不慮の事故による5日以上の入院（120日を限度として） ※4 1日につき（円）	
6	1,200	1,200	1,200	420～60	9,000	4,860
5	1,000	1,000	1,000	350～50	7,500	4,050
4	800	800	800	280～40	6,000	3,240
3	600	600	600	210～30	4,500	2,430
2	400	400	400	140～20	3,000	1,620
1	200	200	200	70～10	1,500	810

・保険料は年齢に関係ありません。

・脱退した場合、既に払い込まれた保険料に対応する期間まで保障が継続します。

※1 不慮の事故による死亡 特定感染症による死亡	災害保険金（災害割増特約より）+災害保険金（災害保障特約より）
※2 不慮の事故による高度障害	災害高度障害保険金（災害割増特約より）+障害給付金（災害保障特約 給付割合表第1級）
※3 不慮の事故による身体障害（程度により）	障害給付金（給付割合表第2級～第6級）（災害保障特約より）
※4 不慮の事故による5日以上の入院（120日を限度として）	入院給付金（災害保障特約より）

◎本人コースの他に、配偶者コース・こどもコースもあります。
（配偶者コース・こどもコースは個人負担型のみ取扱い可能です。）
◎記載の保険料は正規保険料です。
◎保険料は、年齢に関係なく一律です。
◎制度内容等詳細についてはパンフレットをご一読ください。

「グループ保険制度」の特徴

●全測連中部地区協議会にご加盟の企業さまのみご加入できる保険です。

●万一（死亡・高度障害）の場合、死亡・高度障害保険金をお支払いします。

●不慮の事故による死亡・高度障害・身体障害・5日以上の入院の場合の保険金・給付金をお支払いします。

配当金で実質負担は軽減

●年に１回、収支計算を行い、剰余金は配当金として還付します。

※グループ保険制度は１年ごとに収支計算を行い、剰余金が生じた場合は配当金としてお支払いする仕組みとなっています。配当率はお支払い時期の前年度決算により決定しますので、将来お支払いする配当金額は現時点では確定していません。

ご不明な点等あれば、お気軽に下記連絡先までお問い合わせください。

【ご質問・お問い合わせ先】

明治安田生命保険相互会社　中部公法人部法人営業第一部　（引受会社）

TEL　０５２－９５１－９１１５　（時間：平日９：００～１７：００まで）

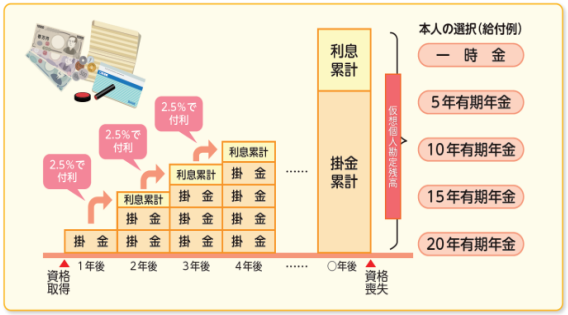
MY-A-20-他-005582

退職給付制度のご案内

厚生労働大臣の認可を受け設立された、測量・設計業界の確定給付企業年金制度です。

制度のしくみ

事業主様負担の掛金(全額損金算入可)に 毎年2.5%の利息を付利して、加入期間に応じて一時金又は有期年金を退職(死亡)時に給付します。



●モデル給付（一時金又は有期年金）

加入年齢：20歳　平均標準報酬月額：340,000円

	60歳で退職	65歳で退職
◆一時金を選択すると	2,826,400円	3,447,500円
◆年金を選択すると	月 額	月 額
●受取期間 5年	50,183円	61,208円
●受取期間 10年	26,642円	32,492円
●受取期間 15年	18,833円	22,967円
●受取期間 20年	14,958円	18,242円

幅広い福祉事業

結婚・出産・就学・災害・死亡等に対する様々な慶弔見舞金、全国の宿泊保養施設の宿泊補助金等の支給を行います。

もう一つの年金制度「そくりょうＤＣ」

税制優遇を受けながら老後資金の準備をする確定拠出年金制度。事業主様の掛金は定額で、将来の給付額は個人(従業員)の運用結果で変動します。

測量基金　検索

そくりょう&デザイン企業年金基金

〒162-8626　東京都新宿区山吹町11番地1

TEL: 03-3235-7211

東日本建設業保証株式会社

- 業務委託時の資金調達には → 前払金保証
- 契約時の保証金納付に代えて → 契約保証

株式会社建設経営サービス

- 経営環境の変化へ柔軟に対応 → 経営コンサルティング

日本電子認証株式会社

- 公共発注機関の電子入札には
- e-Tax,eLTAXによる税務申告に対応 → AOSignサービス
- e-Govによる電子申請に対応 → 法人認証カードサービス

各種お申込・お問合せは

東日本建設業保証株式会社 愛知支店

〒461-0008 愛知県名古屋市東区武平町5−1 名古屋栄ビルディング3F

TEL 052-962-3461 FAX 0120-027-516

URL https://www.ejcs.co.jp/

Network of Technology and Confidence
（技術と信頼のネットワーク）

建設コンサルタント：建31第1622号

河川・砂防及び海岸海洋	農業土木
土質及び基礎	トンネル
地質	上水道及び工業用水道
鋼構造及びコンクリート	都市計画及び地方計画
道路	電力土木
港湾及び空港	造園
建設環境	下水道
施工計画・施工設備及び積算	

測　　量：第(12)－3810号
地質調査：質29第286号
一級建築士事務所：愛知県知事登録(い－28)第12331号
補償コンサルタント：補31第4300号

総合建設コンサルタント

ＮＴＣコンサルタンツ株式会社

〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目4番15号
ORE錦二丁目ビル4F

TEL （052）229-1701 FAX（052）229-1702

100年企業を目指すスタートに!!

永きにわたる皆様のご支援に深く感謝申し上げるとともに、
今後ともご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

おかげ様で50周年!!
新日 新時代へ

補償調査　測量調査　建設コンサルタント　建築設計　不動産鑑定

■ 本社
〒454-0011
名古屋市中川区山王1-8-28
TEL 052-331-5356
FAX 052-331-4010
https://shinnichi.co.jp

■ 支店・営業所
東三河、西三河、豊田、一宮、稲沢、岐阜、三重、
伊勢、関西、関東、静岡、東北、仙台、福島

■ 関連会社
新日ホールディングス、新日土地家屋調査士法人、
新日行政書士法人、株式会社ミタス伊勢

総合建設コンサルタンツ
シンニチ
株式会社 新日

測量・調査から情報整備、コンサルティングまで
一貫したサービスを提供する『建設総合コンサルタント』

株式会社フジヤマ

お問合せ窓口
名古屋支店、豊橋支店

名古屋支店 ／ 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 2-16-3-6F Tel.052-218-4300 Fax.052-218-4301
豊橋支店 ／ 〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町 1-1-1-207 Tel.0532-57-6900 Fax.0532-57-6901
豊田営業所 ／ 〒471-0833 愛知県豊田市山之手 8-89 Tel.0565-47-9800 Fax.0565-47-9811

本社 ／ 〒430-0946 静岡県浜松市中区元城町 216-19 Tel.053-454-5892 Fax.053-455-4619
営業所 ／ 浜松 磐田 袋井 掛川 島田 藤枝 富士 沼津 横浜 多摩 埼玉 千葉 山梨 西尾 三重 岐阜

人と自然を創造する総合建設コンサルタント

株式会社 名邦テクノ

本社　〒457-0048　名古屋市南区大磯通六丁目9番地2
ＴＥＬ052-823-7111　　ＦＡＸ052-823-7110
支店：豊田、東三河、静岡　　営業所：岐阜、三重、長野、稲沢、西尾

信頼と実績による業務内容

- ■ 建設コンサルタント
- ■ 補償コンサルタント
- ■ 測量
- ■ 不動産鑑定
- ■ 土壌汚染指定調査機関
- ■ 宅地建物取引業者

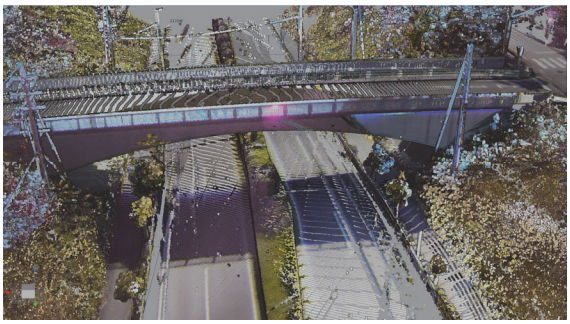
i-Construction

ＩＣＴアドバイザー登録

Ⅰ　3次元測量　　Ⅱ　3次元設計
Ⅲ　3次元出来形管理

当社は地域貢献に努めています

- ■ ＩＳＯ9001：2015
- ■ エコ事業所
- ■ ＡＥＤ設地事務所
- ■ 通学路子供110番の家
- ■ 地域防災協力事務所



高速・高品質

当社保有の最新のオンデマンド印刷機は、高速で、印刷品質にも優れており、オフセット印刷と比較しても遜色ない品質に仕上げることが可能です。

可変印刷

POPの金額、チケットのナンバー、DMやハガキの宛名・担当者名・写真といった部分的な情報を1枚ずつ差し替えて印刷することができます。

製本後加工

印刷物の最終工程は製本になります。
製本次第で印刷物の仕上がりが決まってきます。
用途に合わせた製本・後加工をご提案します。

24時間365日

24時間365日作業体制を整えており、週末や深夜時間帯も計画に入れて工程を組みますので、突発的な大量物件も「驚きの短納期対応」を実現します。

小ロット低コスト

必要な物を、必要な時に、必要な数だけ印刷する小ロット印刷方式ですので、オフセット印刷より低価格を実現しています。最適な量でご発注ください。

全国対応

全国どこへでもお伺いいたします。
なんでもお気軽にご相談ください。
最良のプランをご提案差し上げます。

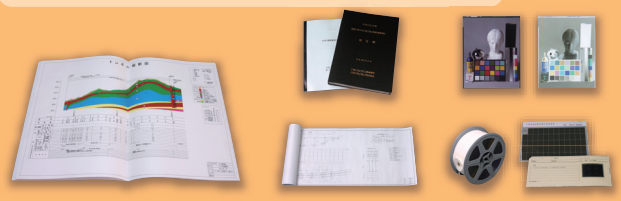
オンデマンド印刷／製本加工

スキャニング電子ファイリング

文書管理(保管)にお困りではありませんか?

スキャニング可能な原稿

報告書、冊子、各種資料などの小型書類
図面などの大型モノクロ原稿(製本物も可)
ポスターなどの大型カラー原稿(製本物も可)
ポジフィルム、ネガフィルム、マイクロフィルム



あらゆる仕様に対応

発注機関に合わせた仕様で作成します。
測量(SURVEY)、地質(BORING)、写真(PHOTO)もお任せください。
ご依頼いただく際は“すべてお任せ”でOKです。

作業実績

民間・財団法人など	水資源機構	名古屋高速道路公社
	下水道事業団	名古屋港管理組合
	NEXCO	首都高速道路株式会社
	阪神高速道路株式会社	
国	国土交通省(一般土木)	国土交通省(港湾)
	国土交通省(機械設備)	国土交通省(建築)
	国土交通省(電気通信設備)	農林水産省
	内閣府沖縄総合事務局	
地方自治体	各都道府県、市町村など	

電子納品サービス

3Dモデリングサービス

CAD・GIS
3次元モデル

現地計測~3次元モデリングまでトータルサポート!!

こんなことでお困りではありませんか?

- 2D CAD➡3Dモデル作成 → 技術習得が必要。設備投資が負担。
- 点群データ加工 → 点群データが重くて扱えない。ハード面の整備が課題。
- 3Dレーザー計測(地上レーザー、航空レーザー、車載レーザー) → 既存の図面がない。どれが最新の図面かわからない。人が行けない箇所の現況データを取得したい。

こんな事が可能になります

- 完成予想図の作成
- 訴求効果の高いプレゼン資料づくり
- 施工シミュレーション
- 干渉チェックなどの形状照査
- レイアウト検討

万全なセキュリティ体制で安全を確保

プライバシーマーク認証をはじめ、セキュリティに関する有資格者の在籍、個人情報漏洩保険への加入、日常の入退室管理などについても徹底し、情報漏洩防止に努めております。

プライバシーマーク 19000192

中京コピー株式会社

お問い合せはこちらまで
info@chukyocopy.co.jp

http://www.chukyocopy.co.jp

■本　　社　〒461-0001　名古屋市東区泉三丁目30番3号　TEL:052-931-2611　FAX:052-931-2366
■東京事務所　〒160-0023　東京都千代田区外神田4-12-9 ヒューリック秋葉原ビル6階　TEL:03-6300-7983　FAX:03-6300-7984
■大阪事務所　〒532-0011　大阪府大阪市淀川区西中島7-1-20 第1スエヒロビル503号　TEL:06-4862-5241　FAX:06-4862-5251
■仙台営業所　〒980-0021　宮城県仙台市青葉区中央4丁目8-17　TEL:022-399-6192　FAX:022-399-6198

編　集　後　記

広報委員会

副委員長　服部 真澄

本年度も機関誌「方位」を無事刊行することが出来ました。ご多忙にも拘わらずご寄稿いただきました愛知県建設局長鎌田様、会長初め協会会員皆様方に協力いただき厚く御礼申しあげます。

令和２年は新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な行事の延期や中止等が相次ぎ、我々の生活や経済に極めて大きな影響を及ぼしています。４月に日本全国に発令された緊急事態宣言は、一時的に解除されたものの現状第２波・第３波と先の見えない不安とともに地球全体を襲っております。

本協会でも研修会等の延期や中止、定時総会を簡素化して事業を進めており、刊行にあたりましては、毎年恒例の「測量甲子園」は全国大会の開催が中止となり、併せて「地図教室と測量体験」も見送ることとなりました。今回は「特集」についても割愛してあり、些か寂しい編集となりました事をお詫び致します。

本業の測量設計業においては、７月に県内各地や岐阜の飛騨川等で河川が氾濫し､甚大な被害をもたらしました。毎年温暖化により甚大な被害をもたらす台風や、巨大地震、いつおこってもおかしくないとされる様々な災害も待ち構えており、本協会企業においては、この様な被害を及ぼす災害を想定し、その役割（地域の安全、安心を守る）のため技術力の向上に日々励んでおり、今回のコロナウイルス禍においても、各企業が取組んだオンライン会議やテレワーク等を、現代の最先端技術（ICT による効率化を計るためのレーザースキャナや UAV 等による３次元点群データ）と組合せることでより迅速な成果の提供をめざし、業界で活躍されている皆様と力を合せて国難に立向っていきます。

なお、この機関誌は、皆さま方の仕事等を通じての研究、事例の紹介、幅広い活動の中でのご意見を発表し､公私にわたるご活躍の一助に成ることを願っています。

今後も多くの方からの寄稿をお待ちしております。

『方位』　　第43号

発　行／　令和２年12月１日発行

発行者／　一般社団法人　愛知県測量設計業協会
〒460－0002
名古屋市中区丸の内3丁目19番30号
愛知県住宅供給公社ビル3階
TEL（052）953－5021
FAX（052）953－5020
E-mail:jimukyoku@aisokkyo.or.jp

編　集／　広報委員会

委員長	永草新吾	委　員	須藤一彦
副委員長	西出剛大	委　員	山本章好
副委員長	服部真澄	委　員	川澄　功
委　員	香村信男	委　員	加藤健司
委　員	安藤健一郎	副会長	梶川　洋
事務局			

印　刷／　中京コピー株式会社